



国際ロータリー第2680地区

2021-22年度 地区大会記録誌



SERVE TO CHANGE LIVES

日時：2022年3月5日(土)・6日(日)

場所：神戸ポートピアホテルにて

大会特別委員会：会場開催

会長・幹事会：オンラインミーティング

ロータリー研修セミナー：オンラインミーティング

ロータリーファミリーの集い：オンラインミーティング

本 会 議：YouTube配信

国際ロータリー会長メッセージ



2021-22 年度
国際ロータリー会長
シェカール・メータ

ロータリアンの皆さま

地区大会に出席される皆さまにご挨拶申し上げます。直接対面式であるか、オンライン形式であるかを問わず、このような会合の機会は、これまでの成果を振り返り、国境や文化を超えたネットワークを広げ、今後のためのアイデアを共有する場となります。皆さま一人ひとりが真の変化をもたらすことができるよう、本会合に積極的に参加すると同時に、この時間をお楽しみいただけることを願っております。

ロータリアンである私たちは、奉仕へのコミットメントをもち、一人では達成できない大きなことに貢献することを目指します。本会合は、社会奉仕への情熱をさらに高め、互いにインスピレーションを与えあい、ロータリーの奉仕を次なる高みへと導く機会です。

今年度は、「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」というテーマの下、あらゆる方法に目を向けていくことが重要となります。奉仕は、私たちが地球上で過ごす時間に対して支払う「家賃」です。私たちは、「もっと成長し、もっと多くを成し遂げる」ことでロータリーの奉仕を広げていくために、「みんなが一人を入会させよう (Each One, Bring One)」の取り

組みに力を注ぐことができます。すべてのロータリー会員が一人の新会員をロータリーに導くことができれば、それによってもたらされる成長は計り知れないものとなるでしょう。私たちはまた、女子のエンパワメントにより一層の力を入れ、女性のための多くの機会を開くことに尽力します。さらに、ロータリー奉仕デーの機会を生かして、世界中でロータリーの奉仕を紹介し、地域社会の枠組みを超えた新しい活動方法を見出していきます。

本会合で学んだことをクラブや地区に紹介し、次年度の成功へとつなげる手助けをしていただけることを願っております。「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」のテーマの下、共に素晴らしい奉仕を実現していきましょう。

敬意を込めて

A handwritten signature in black ink that reads "Shekar Mehta". The signature is written in a cursive style and is followed by a long horizontal line that curves upwards at the end.

2021-22年度国際ロータリー会長
シェカール・メータ



目次 Contents

国際ロータリー会長メッセージ	RI 現況報告	21
	地区現況報告	25
目次	大会特別委員会報告	29
	大会登録委員会報告	29
写真コーナー	大会信任状委員会報告	29
1日目/2日目	大会決議(案)上程	30
	大会決議(案)採択方法	30
大会プログラム	ガバナー指名委員会報告	30
会長・幹事会	地区大会決議	31
挨拶および報告	ガバナーエレクト挨拶	33
2020-21年度 地区決算報告	ガバナーノミニー挨拶	34
	参加クラブ代表挨拶	35
ロータリー研修セミナー	次年度ホストクラブ挨拶	36
ロータリー、この素晴らしきステージ	所感	37
ロータリーの魅力を伝えよう!	謝辞	38
	表彰	39
ロータリーファミリーの集い	参加者	45
	物故会員	46
本会議	大会役員・大会特別委員会	47
開会挨拶	大会実行委員会組織	48
ガバナー挨拶	ロータリーのタベ(ポスター)	49
ホストクラブ会長挨拶	編集後記	
兵庫県知事祝辞(ビデオメッセージ)		
伊丹市長祝辞		
特別講演「ゴリラからの警告とコロナ後の社会」 講師 山極壽一氏		



大会特別委員会



大会信任状委員会



大会決議委員会



地区資金委員会

会長・幹事会・ロータリー研修セミナー



ロータリー研修セミナー 講師
田中 久夫 2840 地区 PG

ロータリーファミリーの集い



ロータリーのタベ

COVID-19 の早期収束と一般市民応援のためのサプライズ演奏（一般公開）
※詳細は 49 ページを参照ください。

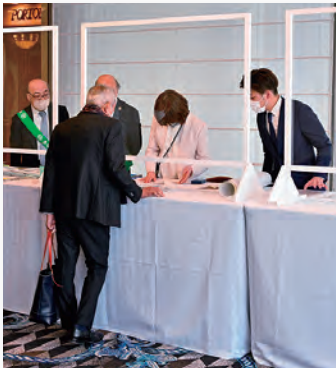


地区奨学生(タイプ2)：松岡 井菜さん



ロータリー財団学友：佐藤 恭子さん

オープニングアトラクション：佐藤恭子カルテット



特別講演 山極壽一氏



【1日目】 3月5日(土)

大会特別委員会

会場開催

13:00 大会登録委員会、大会信任状委員会、大会決議委員会

13:25 地区資金委員会、ガバナー指名委員会

会長・幹事会

オンライン

14:00	開会	司会	代表幹事	白井 良夫
	開会点鐘		ガバナー	吉岡 博忠
	挨拶および報告		ガバナー	吉岡 博忠
	挨拶		地区研修リーダー	矢野 宗司
	2020-21年度地区決算報告		直前会計長	蘆田 裕三
	監査報告		直前会計監査	光斎 信治
	承認			
	閉会点鐘		ガバナー	吉岡 博忠
14:40	閉会			

ロータリー研修セミナー

オンライン

15:00	開会	司会	総務副幹事	前田 隆則
	挨拶		ガバナー	吉岡 博忠
	講話「ロータリー、この素晴らしきステージ」		地区研修リーダー	矢野 宗司
 休憩			
	講演「ロータリーの魅力を伝えよう」		2840地区2017-18年度ガバナー	田中 久夫
	挨拶		ガバナーエレクト	阪上 栄樹
17:00	閉会			

ロータリーファミリーの集い

オンライン

14:30	開会	司会	青少年交換学友会会長	藤田 萌
	開会挨拶		青少年奉仕委員長	三木 健義
	関係団体紹介 1		2021-22年度地区奨学生(タイプ2)	松岡井菜(AKA DUO)
	アトラクション			
	関係団体紹介 2	 休憩	
	ガバナー挨拶		ガバナー	吉岡 博忠
	パネルシンポジウム			
	閉会挨拶		青少年奉仕副委員長	黒田 建一
17:10	閉会			

ロータリーの夕べ

ポートピアホール

17:30	開会	司会	青少年交換学友	木下茉莉華
	挨拶		ガバナー	吉岡 博忠
	演奏		松岡井菜(AKA DUO)	佐藤恭子カルテット
19:00	閉会			

【2日目】 3月6日(日)

本会議

YouTube配信

	司会	総務幹事 青少年交換学友	松本 輝明 木下茉莉華
12:45	オープニングアトラクション		佐藤恭子カルテット
13:20	開会		
	開会点鐘	ガバナー	吉岡 博忠
	日本国国歌		
	奉仕の理想斉唱		
	挨拶	大会実行委員長	中島 勝美
	挨拶	ガバナー	吉岡 博忠
	挨拶	ホストクラブ会長	杉本 啓次
	知事祝辞	兵庫県知事	齋藤 元彦
	市長祝辞	伊丹市長	藤原 保幸
	地区リーダー紹介		
	参加クラブ紹介		
	物故者黙とう		
14:00	特別講演「ゴリラからの警告とコロナ後の社会」		
		総合地球環境学研究所 所長	山極 壽一氏
 休憩		
15:00	RI現況報告	ロータリー財団管理委員 元RI理事	三木 明
	地区現況報告	ガバナー	吉岡 博忠
	表彰		
	大会登録委員会報告	委員長	前田 隆則
	大会信任状委員会報告	委員長	高瀬 英夫
	大会決議案上程	委員長	浅木 幸雄
	大会決議案採決方法(後日電子投票)	ガバナー	吉岡 博忠
	ガバナー指名委員会報告	委員長	室津 義定
	ガバナーエレクト紹介	ガバナー	吉岡 博忠
	挨拶	ガバナーエレクト	阪上 栄樹
	ガバナーノミニー紹介	ガバナー	吉岡 博忠
	挨拶	ガバナーノミニー	安行 英文
	参加クラブ代表挨拶	三田RC会長	藤埜 貴夫
	次年度ホストクラブ挨拶	宝塚中RC会長	大門美智子
	所感	直前ガバナー	高瀬 英夫
	直前ガバナー夫妻へ 記念品と花束贈呈	ガバナー	吉岡 博忠
	謝辞	ガバナー	吉岡 博忠
	閉会点鐘	ガバナー	吉岡 博忠
17:00	閉会		

◆挨拶および報告



ガバナー
吉岡 博忠
(伊丹)

春めいて参りましたとご挨拶していいのか迷う季節であります。会長・幹事様にはご健勝のことと推察いたします。

2月23日117回ロータリー創立記念日の翌日、2月24日、ロータリーの最も大切な月「平和維持と紛争予防月間」にロシアのウクライナ侵攻があり、現在も予断を許さない状況が続いています。RIは強い声明を発信しました。これに基づいて、週明けに人道支援についての取組みを発信させていただきます。宜しくお願いいたします。

昨年、年度準備のためのPETS、SETSから地区研修・協議会と年度が始まり、ガバナー公式訪問、各種セミナーではその他様々な行事で、大変お世話になり感謝申し上げますとともに、全ての会長・幹事様のリーダーシップにあらためて敬意を表します。

今年度ガバナー行動指針として、For the dynamic Leaders of futures with Rotary「ロータリーとともに活力に満ちたリーダーを育てるために」を標榜させていただきました。

公式訪問におきまして、会長・幹事懇談会で、一. 戦略計画とビジョン、二. 定款細則とクラブ自治権、三. 危機管理特にハラスメント、四. SRF (Shaping Rotary Future) ロータリーの未来形成の概略について、また卓話では、主に「ロータリーの人材育成」についてお話をいたしました。

各クラブさんの伝統と誇りが大いに感じることができる公式訪問となりました。

今年度は、ローターアクトクラブ（以下RAC）も公式訪問させていただきました。これは、RACがRCと同じ立場でRIを構成することになり、ロータリーの中核的価値観「親睦、高潔性、多様性、奉仕、リーダーシップ」や2019年RI理事会が決議した、DEI「多様性、公平性、包摂性」への理解を共有するためのものであります。まだまだ提唱クラブさんの援助なしには立ち行かないことも把握することができ、2680地区RACの課題も浮き彫りになりました。意義ある公式訪問となりました。

私たちロータリアンの仲間は正に「人材の宝庫」です。地区大会の大きな「親睦」と「学び」の場を、皆さま共々存分に楽しみたいと存じます。



◆ 2020-21年度 地区決算報告

● 決算報告

直前会計長

蘆田 裕三

(西 脇)

資料に基づき、2020-21年度の決算報告がなされた。



● 監査報告

直前会計監査

光斎 信治

(神戸須磨)

監査の結果、決算報告に疑義がないことの報告がなされた。



● 決算承認方法について

ガバナー

吉岡 博忠

(伊 丹)

ただいまの決算報告および監査報告につきまして、本来ならば、この場で承認をいただくべきところではありますが、今年度はオンラインミーティングのため、この場で賛否を取ることができません。つきましては、後日、電子投票とさせていただきます。投票方法の詳細につきましては、あらためてクラブにメール発信させていただきます。



「2020-21年度地区会計決算報告」電子投票結果

「会長・幹事会」において報告された「2020-21年度地区会計決算」について、地区大会後、地区内全クラブに対し電子投票を行った結果を下記の通り報告いたします。

皆様のご協力に厚く感謝申し上げます。

2020-21年度地区会計決算報告承認の件

署名人:クラブ会長 回答:71ロータリークラブ(2022年3月現在) **承認:71票**

上記のとおり、全ロータリークラブからご承認を頂戴いたしました。

ガバナー 吉岡 博忠
直前会計長 蘆田 裕三

ロータリー、この素晴らしきステージ



国際ロータリー第2680地区
地区研修リーダー

矢野 宗司

(加古川中央)

1. 初期ロータリーのステージ

当地区の深川純一PDGは「ロータリーとは人類文化史が20世紀の時代に刻印を打った職業人の最も優れた倫理運動である。」という言葉を残されました。商業道徳という概念のなかった20世紀初頭の資本主義の初期において、奉仕の理念を導入し、ロータリー倫理訓の提唱、さらには利己と利他の調和を謳った決議23-34の人生哲学、四つのテスト等、ロータリーは倫理運動として、職業人にとっての大きな羅針盤となってきました。戦前の日本ロータリーの「大連宣言」も倫理運動としてのロータリー観が凝縮されたものでした。

《ロータリーのステージ1》1920年～1945年

- 1920年 日本にロータリーが誕生(東京RC)
既に社会的地位を有する財界人がメンバー、親睦を中心とした社交クラブ
- 1923年 関東大震災⇒国際ロータリーと各国RCから多額の義援金→日本のロータリーに大きな影響を及ぼし、本格的なロータリー活動の推進につながる。
- 1928年 日本が一つの地区として承認され、日本のロータリーが着実に拡大する。
- 1936年 大連宣言採択⇒ロータリーの日本化
- 1939年 日満ロータリー連合会結成⇒日本独自の組織
- 1940年 日本のRCがRI脱退

2. ロータリーのステージの拡大

ロータリーは1947年のポール・ハリスの死去によって次のステージに移ります。戦争の悲劇を二度と起こさないために、ロータリーの善意の提唱を通じて戦争を予防しなければならないと訴えたポール・ハリスは「葬儀の

献花に代えて国際理解のためにそのお金を財団に送ってほしい。」と遺言を残しました。それによって多額の寄付が集まり、ロータリー財団はにわかに脚光を浴び、ロータリーは世界理解と平和のための運動へとステージが拡大します。さらに、インターアクト・ローターアクト・RYLA・青少年交換といった青少年奉仕活動も相次いで始動し、ロータリーのステージはさらに多世代にも拡大していきます。

《ロータリーのステージ2》1946年～1970年

- 1947年 ポール・ハリス逝去⇒多額の寄付金が集まり、それがロータリー財団の基金となり、にわかにロータリー財団が脚光を浴びる。その基金をもとに国際奉仕プロジェクトの推進
- 1949年 日本のRCがRIに復帰
- 1956年～ロータリーのプログラムとして、青少年奉仕活動が広がる。⇒ステージの世代拡大
- 1962年～国際奉仕活動の本格化

1970年代に入ると3Hプログラムやポリオ・プラス等といった国際ロータリー(RI)主導型の国際奉仕活動が盛んになり、それに伴い、ロータリーはそれまでの個人奉仕を中心とした奉仕から団体奉仕へ比重が移るようになります。

《ロータリーのステージ3》1971年～1995年

- 1978年 3Hプログラム発表⇒RI主導型奉仕活動→ロータリーの新たなステージ
- 1985年 ポリオ・プラス計画発表⇒単年度制から継続性に
- 1986年 世界のロータリアンが100万人を突破⇒長期計画委員会(後の戦略計画委)

	員会)を設立→時代に対応するための戦略の策定
1989年	女性ロータリアンを認める⇒男性のみの社交クラブからの転換→会員基盤の多様性のスタート
1991年	「国際ロータリーの使命」発表⇒国際奉仕活動の提唱

そういう中で、1986年には世界のロータリアンが100万人を越すようになり、それを踏まえてRIは長期計画委員会(後の戦略計画委員会)を設置し、新たな時代に対応するための戦略の策定に着手します。とりわけ、1989年に女性ロータリアンが認められたことにより、ロータリーは男性のみの閉鎖的な社交クラブから脱皮し、会員基盤の多様性に舵を切ることになります。

そして、1996年以降、RIは、多様性(Diversity)、柔軟性(Flexibility)、革新性(Innovation)を新たなステージのキーワードに、会員基盤やクラブの多様性、例会の柔軟性等様々な改革を進めていきます。ロータリーは初期の職業人の倫理運動からより大きなステージへと広がっていくこととなります。

《ロータリーのステージ4》1996年～2020年	
1998年	ロータリーセンターの設置⇒ロータリー世界平和フェローの育成による国際貢献
2002年	DLP採用⇒地区の改革
2010年	RIのビジョン・中核となる価値観発表 Eクラブ承認⇒クラブの多様性
2013年	「未来の夢計画」スタート⇒ロータリー財団の大幅な改革 衛星クラブ承認
2016年	規定審議会による大幅な柔軟性の導入
2017年	新しいビジョン声明

3. 固定観念の弊害

そういう変化に対して、日本のロータリーではいまもって画一性、硬直性、保守性のもと、「ロータリーかくあるべし。」という固定観念を持つことによって、新会員の意欲を阻害し、ロータリーの変化を受け入れないというメンバーがいる現象に多くのクラブのリーダーは苦悩しています。具体的には、

1. 女性会員の入会を認めない。

30年以上前に女性会員が認められたにもかかわらず、未だに頑なに認めないシニア会員の存在。当地区は女性会員比率が34地区中最下位となってしまいました。

2. 会員増強は量より質

かつて、直木太一郎PDGが「今しばし拡大をやめて、今居るロータリアンの原石を磨く時ではないか」と述べたのは、会員が右肩上がりの時代であり、今それを主張するのは時代錯誤としか言いようがない。実際、直木PDGも「ロータリーの発展には、質の向上と数の増加が車の両輪の如く必要である。」と述べており、後に講演をしていただく田中久夫PDGの会員増強への本気度を学んでほしい。

3. 職業奉仕はロータリーの根幹

ロータリーは職業奉仕だけでなく、より大きなステージを有する運動となっている。さらにコンプライアンスが大切な現代においてロータリーだけが職業倫理を標榜する団体とは言えず、それを求めて入会する新会員は極めて少ないのが現状である。

4. ロータリーは個人奉仕

ロータリーのステージが拡大する中で、個人奉仕だけでは活動に限界があり、団体奉仕との両輪が必要となる。

以上、私的な意見を述べましたが、このような考えに賛同するロータリアンが増えているのも事実であります。

4. 俯瞰的視野(Bird'-eye view)に立ってみよう

よく原点に帰ろう、本質を見失うな、という人がいますが、ロータリーの本質とは何でしょうか。ロータリーの本質は変化を受け入れることです。変化を受け入れたからこそ、ロータリーは発展してきたのです。ロータリーの初期の目的は親睦と物質的相互扶助でした。そこに奉仕という社会との接点となる概念を取り入れたからこそ、ロータリーは発展しました。そして、全米ロータリークラブ連合会(RIの前身)を受け入れたからこそロータリーは世界に拡大しました。ポール・ハリスは「ロータリーがしかるべき運命を切り開くには常に進化し、時には革命的にならなければならない。」と言いました。固定観念に固執することなく、俯瞰的な視野に立って、この素晴らしいステージを享受してみてもどうでしょうか。



ロータリーの魅力を伝えよう！



国際ロータリー第2840地区
2017-18年度ガバナー

田中 久夫氏
(高崎)

1 はじめに、最近の日本のロータリアンの減少傾向を示して、特に直近2年間ではそれが約4,300人の減少となっており、日本にある大きめの地区一つが消滅したに等しい状況下であると警告し、それゆえ、いまこそ会員増強が喫緊の課題であることを報告した。

2 会員増強の本旨は、それを誘う側の立場上の保身ではなく、

- ① ロータリーに入ることがどれだけ本人の為になるのかを、
- ② その本人自身がよく理解してくれることが大切であると説いた。

そのためには、自分たちがロータリーと自クラブの状況をよく理解していることが必須であって、たとえば論語（孔子）には「知好楽」の教えというものがあり、これを実践してロータリーを楽しむ境地に至ってこそ、会員増強にも身が入ることを指摘した。

モノゴトを深く知るには...

中国の思想家 孔子『論語』：「知好楽」の教え

「子曰く、之れを知る者は之れを好む者に如かず、
之れを好む者は、之れを楽しむ者に如かず」
(原文)「知之者、不如好之者 好之者、不如樂之者」

知ること < 好きになること < 楽しむこと

3 私は、自身がガバナーであった際、新会員の内情を知って会員増強活動に活用するためにいくつかのアン

ケートを採った経験がある。その結果、

- ① 勧誘の重要性
- ② 入会前のロータリーに対する偏見の存在
- ③ 入会後の満足（人脈、知人・友人、親睦等）
- ④ 入会後に知ったクラブの問題

（若手、女性会員の不足、重い金銭的負担等）などが判明し、それを理解して解決することが会員増強への近道であることを知った。

2. 入会前に抱いていたRCのイメージは？

- ・名士、地元有力者、社長、成功者、お金持ちの集まり(25%)
- ・会費が高い、お金がかかる(21%)
- ・敷居が高い、固いイメージ(16%)
- ・年齢層が高い(13%)
- ・例会・行事が多い、出席が厳しい、時間が取られる(11%)
- ・地域貢献、奉仕活動ができる(8%)

4 どのクラブにも共通する4つの問題点を指摘し、それを解決するにはどうすれば良いのかを考えて、高崎クラブでの活動をヒントにして欲しいと述べた。4つの問題点とは、

- ① シニア会員自らが自覚すべきことを正しく認識していないこと
 - ② 新会員へのフォローが不足していて、彼らのロータリーへの理解浸透（教育）について前向きに取り組んでいないこと
 - ③ その年度の会長・幹事にヤル気がないこと
 - ④ クラブに若手・女性を入れられない何らかの原因・障壁があること
- である。

- それらに対し高崎クラブが採った方法とは、
- ① 毎月必ず開催した「夜間・会員増強会議」
 - ② クラブの全会員に携行させた「三種の神器」
 - ③ 被勧誘者から受ける想定質問に対しての事前準備の勉強会の開催
 - ④ 新会員を迎えるために行った「例会」の工夫等、がある。

特に④では、例会での着席を毎回抽選にしたことによって、現会員と新会員との交流がスムーズにいったことや、新会員を連れて他クラブへメークに行ったことなどを披露した。

④ 新会員を迎える「例会」等の工夫

- 1 例会場での着席場所を毎回「抽選」にした：シニア会員からの反発が起きた
- 2 点鐘前に30秒間の「握手タイム」を設けた：新会員・女性会員が喜んだ
- 3 他クラブとの夜間例会を積極的に開催した：若手会員が自クラブの自慢をしていた
- 4 クラブを超えて集うグループ(飲み会)を作った：会員を選別してブランド化した
 - i クラブは違ってもロータリアンであることの誇りが若手会員に芽生えた
 - ii 入りたいけど入れないという焦燥感が生まれ、ロータリーへの知好楽が広まった
- 5 新会員こそ役職に就けた：本人とクラブの将来を考えた
- 6 若手会員を地区に積極的に出向させた：若手の地区デビューを促した

5 人生の究極の目的である「豊かな人生」を得るために、ロータリーはどのように役立つのかについて、

- ①「老」の世代に必要なことは「キョウヨウ」と「キョウイク」であると説き、つまりはキョウヨウとは「今日、用がある」、キョウイクとは「今日、行くところがある」の意味で、それらを実現できるのがロータリーの「例会」であると説明した。
- ②「壮、青」の世代では、ロータリーは豊富な人脈を共有し、それを活用して生活や仕事の充実を図ることが出来る。

として、ロータリーとは「人生最後の友人」が得られるところだと説いた。

「豊かな人生」とは... 答えはロータリーにある！

- 「豊か」とはどういう状況のことを言うのでしょうか？
年齢層によって、その答えは違うように思います。
- 「老」の世代が大切にしているのは「キョウヨウ」と「キョウイク」です。
キョウヨウ → 今日、用がある キョウイク → 今日、行くところがある
→ それ、「例会」です。
- 「青・壮」の世代が必要としているのは人脈・それを信頼した生活や仕事の円滑化です。
そのための親睦と仲間との共同活動(同一目標・達成の喜びを得るための共同作業)
→ それ、「ロータリー」です。「人生最後の友人」が得られる場です。

そして「人生の目的」は何であるかを考えたとき、それが何であるかを知るはずの人生の先覚者たち(新渡戸稲造、内村鑑三、稲盛和夫など)は、口を揃えて「品格の完成」や「心を磨くこと」などと言い、ロータリーの例会はまさに、「人生の道場」であり、「人生の目的・意義」を学ぶ場であることを説明した。

6 最後に、日経新聞の記事をひも解き、組織に新風を吹き込むために必要な3つのタイプの存在を紹介し、それぞれが果たすべき役割を説いた。その3種とは、

- ① 若者
 - ② バカ者
 - ③ よそ者
- である。

①は、新会員やクラブの会員増強委員長の若返り人事が必要であることを意味し、②は会長、幹事がその年度において会員増強バカに徹すべきことを意味し、③はまさに新会員の存在、そして彼らの背景に控えている増強ターゲット層の存在の重要性を意味している。

つまり...

- 1 若者 ..よく動いて活気に満ちた人(若手会員)
 - ① 会員増強担当者の若返り人事を図る
 - ② 新会員のターゲット層(若者・女性)を絞る
- 2 バカ者 ..常識にとらわれず新鮮で突飛な発想をする人
 - ① 会長・幹事の役割です。増強バカに徹することで
 - ② 周りからの反対を気にしない強固な意志を持つ
- 3 よそ者 ..異なった視点から物事を見られる人(新入会員)
 - ① 新会員周辺の新しい人脈・友人層を活用しよう
 - ② 新会員の期待に応えるため、魅力あるクラブへ改革



ロータリーファミリーの集い



青少年奉仕委員長
三木 健義
(姫 路)

3月5日 土曜日、2年間COVID-19の影響で開催できなかった【ロータリーファミリーの集い】が、30名弱の会場参加者と、80名弱のオンライン（ZOOM）参加者により開催された。この集いは、青少年奉仕を構成する、インターアクト、青少年交換、RYLAの各プログラム、ローターアクト、米山奨学生、財団奨学生及びその学友、そして関係ロータリアンを中心に構成され、相互の活動発表や意見交換を通して交流を深め、それぞれのプログラムへの参加者の基盤を広めたり、プログラム内容をより洗練していったりすることを目的としている。

初めに青少年交換学友の藤田萌さんの司会により、三木健義青少年奉仕委員長の挨拶の後、関係6団体の活動発表を、百合学院インターアクトクラブ顧問 吉川晶子先生、青少年交換学友会 根本心音会長、ローターアクト 阪本渚子地区代表、RYLA学友会 阪本

龍太郎会長、米山奨学生学友会 麦嘉輝会長、ロータリー財団兵庫学友会 安岡由美会長（オンライン）により、地区財団奨学生であった松岡井菜さんのバイオリン演奏を途中にはさんで行われた。

その後、吉岡博忠ガバナーより、安行委員長のウクライナ国旗の色調を基に着用されたカッターシャツを題材に平和維持と紛争解決の話、百合学院吉川晶子先生への3月退任にあたり感謝の言葉、環境の保護について5%の熱意が世界を変えるという趣旨のご挨拶が行われた。

パネルシンポジウムは、安行英文学友会委員長をコーディネーター、各団体の代表者をパネリストとして、感染状況下、「出来たこと・出来なかったこと」、「困ったこと・良かったこと」、「プログラムの変化」について意見を出し合い、オンライン型と従来の対面型のスタイルを見つめ直し理解を深めた。



インタラクティブについては、飲食を伴う活動は難しかったが、障害者の疑似体験や手話講座など新しい取り組みを行えたこと、青少年交換では、遠隔地の学友がオリエンテーション中オンラインで経験を話せたこと、ローターアクトではオンラインのキャンプにも挑戦したこと、米山奨学生からはチャットルームを利用した月1回の座談会を企画しようとしていること、ロータリー財団学友会では、国際大会学友の集いなどオンラインで参加できたことや、世界中に散らばっている学友の交流には有効な面もあるという意見がでた。総じて、これまでの会議や研修では時間、場所、費用面の制約があったが、オンラインでは制約が少なく、大人数の場合には、対面での会合のように、個々のメンバー同士の顔を合わせて同じ時間や空気感を共有することが難しいが、小規模であれば、計画→実行→評価→フィードバックというサイクルが、時間、場所、費用の制約を受けず、何回も実施できよりパーソナライズ化できるメリットがあるという側面が浮かびあがった。

そこで、「オンライン研修でロータリーの目指す奉仕の人材育成はできるかどうか?」についても意見を出し合い、説明のみの研修やマニュアルの引継ぎなど事務的な会合は、より気軽に参加でき、制約のないオンラインの方が有利だが、リセットも早く、開催側から参加者が何をしているかわからないなどの弱点もあり、奉仕活

動の訪問など体験を通じ実感しないといけない部分や、参加者同士のやり取りの中で学ぶ機会については、オンラインで得られる情報の方が少ないのではないかという意見があった。

安行コーディネーターからは、プログラム、研修の目的に応じてどういった形式が良いかを考える必要があるという説明があった。

最後に「奉仕プログラムで重要なものは何か?」という問いに意見を出し合い、安行コーディネーターより、「インタラクティブさ(相互のやり取り)」がなければ、感動や使命を実感することができないのではないかという説明があり、今後の会合を考える時、相互の五感に訴えるにはどうすれば良いかを考慮して企画してはどうかという提案があった。

閉会にあたり、黒田建一青少年奉仕副委員長より、バイオリン演奏の曲目について、オンライン形式とインパーソン形式(対面型)の会合の人に与える効果について、地球環境についてなど集いを振り返る挨拶があり閉会した。

今回、オンライン参加者同士は十分な交流を図ることができなかったが、情報共有できたのではないかと思う。来期にはより交流し実感できる会となるようインパーソン(対面)での開催ができることを期待したい。



〔挨拶〕



大会実行委員長
中島 勝美
(伊 丹)

2021-22年度国際ロータリー第2680地区 地区大会の本会議開会にあたり、実行委員会を代表いたしまして、一言ご挨拶を申し上げます。

お蔭をもちまして、本年度地区大会も、3月5日午後1時の大会特別委員会を皮切りに、無事スタートすることが出来ました。これも偏に皆様方のご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

さて、皆様方ご承知の通り、今年に入りオミクロン株による感染症が急拡大し、1月27日兵庫県全域が「COVID-19感染拡大に伴うまん延防止等重点措置」の対象地域に指定されました。その結果、当地区大会開催方法につきましても再検討を余儀なくされ、慎重に議論を重ねました結果、参加していただく皆様方の健康を第一に考え、急遽二日間共オンラインで開催するという苦渋の決断をした次第です。



ご来駕を予定いただきました来賓の皆様方、関係各位、そして何より、ここに集うことを楽しみにお待ちしております。いただいております会員の皆様方、大変申し訳ございませんが何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。

本年度、吉岡ガバナーは月信第1号誌上で、「このような感染拡大の中でも、巣ごもりするのではなく、あらためて『親睦』と『奉仕』の実践のため『学び』にスポットを当て、リーダーの『人材育成』を標榜させていただきます」と述べておられます。

本年度地区大会におきましても、この基本方針に基づき、COVID-19以後の新しい社会の「人材育成」を目指して、二つの講演を企画しております。

一つはロータリー研修セミナーでの、国際ロータリー第2840地区パストガバナー田中久夫氏による「ロータリーの魅力を伝えよう」というご講演と、もう一つは、本会議での特別講演として「ゴリラからの警告とコロナ後の社会」という演題で、京都大学第26代総長で、総合地球環境学研究所 所長の山極壽一氏によるご講演であります。

開会に至りますまで存分にお楽しみいただくとともに、今後の活動の一助としていただければ幸いです。

最後になりましたが、本年度地区大会開催に当たり、万難を排してご臨席賜りました伊丹市長藤原保幸様、ロータリー財団管理委員で元RI理事の三木明様、そしてご支援、ご協力をいただきました全ての皆様方に、あらためまして心より御礼申し上げますと共に、我々にとりましては、慣れない大会運営でございます。至らぬ点は、何卒「寛容」の精神でご容赦いただきますようお願い致します。開会の挨拶とさせていただきます。

有難うございました。

〔挨拶〕



ガバナー

吉岡 博忠

(伊 丹)

2021-22年度は、日本ロータリー102年目を見識高い2680地区ファミリーの皆さまと新しい門出の年度として出発し、様々なプロジェクト・プログラムをご一緒できたことを誇りに思いますとともに深く感謝申し上げます。

本日は公務ご多忙のなか、齋藤元彦兵庫県知事、藤原保幸伊丹市長はじめ、皆様よりご祝辞を賜り御礼を申し上げます。

また、三木明ロータリー財団管理委員・元RI理事（姫路）にRI現況報告をご快諾いただきましたことあらためて感謝を申し上げます。

本大会講演は、国際霊長類学会会長・第26代京都大学総長の山極壽一先生にお願いしております。環境問題の権威である先生の著書『ゴリラからの警告「人間社会、ここがおかしい」』は、人間社会への提言であり、私たちロータリアンとファミリーが真摯に取り組むべき課題を数多く示唆していただけるものと期待しております。

ガバナーの行動指針として、“For the dynamic Leaders of futures with Rotary”「ロータリーとともに活力に満ちたリーダーを育てるために」を標榜させていただきました。ロータリー全ての活動は、未来を担うロータリーファミリーの人材育成に繋がります。地域・職域でのリーダーであるロータリアンの行動全てが、人を育てる根底にあることに思いを致すと、自ずと「自身の人格形成」に繋がり、自らの成長の糧になるものと存じます。

COVID-19禍の公式訪問では、ロータリークラブ（71）、ローターアクトクラブ（9）を、日程調整のうえ、全て対面で実施することができました。また、同時進行しておりました各セミナー等のプロジェクト・プログラムは、原則対面とハイブリッドによる配信ができました。地区運営に携わっていただいた全ての皆さまのご苦勞に敬意を表します。

— 全てのロータリアンとファミリーの皆さまに感謝して —



〔挨拶〕



ホストクラブ会長
杉本 啓次
(伊 丹)

本日2021-22年度国際ロータリー第2680地区地区大会を開催にあたりご挨拶を申し上げます。

今回も感染症蔓延により規模こそ縮小されましたが、白井良夫代表幹事始め中島勝美実行委員長他、関係各位の叡智を結集しての地区大会に辿り着きましたこと、クラブを代表して感謝申し上げます。

本大会におきまして兵庫県知事 齋藤元彦様・伊丹市長 藤原保幸様の心温まるメッセージを賜りますことに、重ね重ね感謝申し上げます。

伊丹ロータリークラブのある伊丹市は兵庫県の東に位置しています。猪名川を越えれば大阪府に隣接しています。昔から酒蔵が数多く、酒造りで有名な清酒発祥の地です。市内の会合では乾杯は伊丹の酒で行う条例が出来るほどお酒に関しては生一本な街です。また、伊丹ロータリークラブからは1973-74年に荘司康氏、1990-91年に深川純一氏、そして吉岡博忠がバナーの3人を輩出しています。

さて今回の地区大会はYouTubeでも配信することになり、密を避けるうえでは進化した大会となります。皆様の職場やご家庭でご覧いただくことになりました。感染症蔓延の中でより安全に配慮した地区大会になります。そのような中でオープニングアトラクションではジャズライブをお楽しみいただき、ロータリー研修セミナーでは2840地区2017-18年度ガバナーの田中久夫様のご講演を始め、本会議では総合地球環境学研究所所長の山極壽一様のご講演もオンラインでもご覧いただけるようにいたしました。両氏の普段耳にすることのないお話をお聴きください。

国際ロータリー第2680地区の集大成である大会が感染症の影響であらゆる行動が制限され経済活動にも、市民生活にも多大な影響を及ぼす中、100年を超えた日本のロータリーが、引き続き感染症の中で何ができるかを模索することになりますが、世界中の、日本中の、2680地区のロータリアンが支えあい、助け合い、今こそ本領発揮して活躍されることを願ってホストクラブ代表の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。



〔兵庫県知事祝辞（ビデオメッセージ）〕



兵庫県知事
齋藤 元彦

兵庫県知事の齋藤元彦です。

国際ロータリー第2680地区の地区大会が開催されますことを心からお喜びします。今回の大会はオンラインでの開催となり、皆さんに直接お目にかかれないのは残念ですが、吉岡ガバナーをはじめ、ロータリアンの皆さんの日頃のご活躍に対し、あらためて厚く御礼申し上げます。

いま私たちは、新型コロナウイルスの第6波の最中にあります。兵庫県では、医療逼迫を防ぎ、社会機能を停滞させないため、入院医療体制の強化、自宅療養者等へのフォローアップ強化、3回目のワクチン接種の促進などに全力で取り組んでいます。

第6波をこのまま収束させていくには、県民の皆様のご理解とご協力が欠かせません。マスクの着用など基本的な感染対策を徹底する、混雑している場所や時間など感染リスクの高い場面を避ける、そして3回目のワクチン接種を積極的に進めていただく。皆様お一人おひとりの取組をよろしく願いたします。

コロナ以外にも、人口減少や超高齢化、多発する災害など、私たちは多くの課題に直面しています。これらの課題解決に積極果敢に立ち向かい、もっと安心で、もっと活気に満ちた兵庫をめざしていかねばなりません。

スタートアップの育成支援、中小企業等のデジタル化・グリーン化の促進などに取り組み、新しい成長の種をまいていく。そして、2025年大阪・関西万博を見据え、ベイエリアの活性化や「ひょうごフィールドパビリオン」の全県展開などを図り、地域の価値を高めていく。さらには、困難を抱える妊産婦、ヤングケアラー、医療的ケア児への支援など

を充実させ、安全安心の網を広げていく。

これらの施策にしっかり取り組みながら、兵庫のブランド力を高め、兵庫に人・モノ・投資を呼び込んでいく、そんな好循環を生み出していきたいと考えています。

もちろん、そうした取組は、行政だけでなく、地域の様々な方々と力を合わせていくことが重要になってきます。ロータリアンの皆さんには、これまで培ってこられた豊かな経験とネットワークを活かし、より一層充実した活動を展開されることを期待しています。ともに力を合わせ、生き生きと「躍動する兵庫」を実現していきましょう。

最後になりましたが、国際ロータリー第2680地区のさらなる発展と、関係の皆様のご健勝をお祈りし、私からのお祝いのメッセージといたします。



〔伊丹市長祝辞〕



伊丹市長
藤原 保幸

本日の地区大会の開催誠におめでとうございます。2680地区内41の市と町を代表して心からのお祝いとお礼と若干のお願いをさせていただきます。

まずは、COVID-19禍の大変な状況の中、関係者の方々のご尽力によってIT技術を活用した大会の運営実施が実を結んだことに御祝い申し上げます。また、伊丹のまちづくりを進める中で、伊丹のロータリアンの方々には各分野で主導的役割を果たしていただき地域社会の運営に多大なるご協力を頂いております。改めて、地区内の全てのロータリアンの方々に御礼申し上げたいと思います。

今回ごあいさつさせていただくにあたり、ロータリーについて、少し学ばせていただきました。

ロータリーの7つの重点分野の一つ目は、平和構築と紛争予防、二つ目は疾病予防と治療とお聞きしております。20世紀に第一次世界大戦・第二次世界大戦が起こり、人類が滅亡するという危機感のもと国際連合ができましたが、今回ウクライナでの紛争により明確な形で破られました。大国が力で近隣国に侵攻すると、世界規模で戦争の危機が高まると思います。また、第一次世界大戦中スペイン風邪が世界中で流行し、多くの尊い人命が犠牲になりました。今回COVID-19感染症が社会経済に大きな悪影響を与えました。そう考えると、ロータリーの重点分野は、ロータリーの発足時から歴史的経緯もふまえて考えられているのかなと私なりに理解いたしました。

そんな中で伊丹市も何か行動を起こそうということで、JR伊丹駅前に国際姉妹都市のベルギーハッセルトから頂いたカリヨン（鐘のタワー）をウクライナカラーである黄色と青でライトアップし、ウクライナ国歌を演奏して平和を祈念するというメッセージを発信いたしました。一人ひとりができることを

世界に発信していくことでプーチン大統領が撤収を判断できるような環境を作っていく必要がある、と思っております。

ロータリアンの方々には、今の時代に重点分野の必要性が再度問われているんだということを申し上げさせていただき奮起をお願いしたいと思います。今、歴史が大きく変わりつつあります。悪い方向にいかないように、未来の子ども達に良い地球環境が引き継げるよう我々大人は義務を課せられているのではないかと思います。

本日の地区大会の開催にあたりまして、改めてロータリーの日頃の活動に御礼を申し上げますとともに、今後ますますロータリーが発展されること、社会がより良い方向に進むのだと確信いたしました。御祝いのご挨拶にかえさせていただきます。

本日は地区大会の開催、誠にありがとうございました。



〔特別講演「ゴリラからの警告とコロナ後の社会」〕



総合地球環境学研究所
所 長

山極 壽一 氏

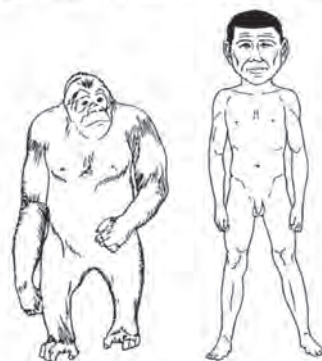
現代、とくに1950年以降は「人新世」と呼ばれる。これは人間の活動が急速に増加し、地球環境への悪影響が顕著になった時代という意味である。人口はこの100年間で4倍になったし、温室効果ガスによる気候変動は数々の自然災害を引き起こしている。地球の限界（プラネタリーバウンダリー）を表す9つの指標のうち、生物多様性の喪失と窒素とリンの循環がすでに限界値を超えた。地球の哺乳類のバイオマスの9割以上が人間と家畜になり、地球の陸地の4割以上がこれらを養うための畑地と牧草地になった。



今回私たちが経験している新型コロナウイルスによるパンデミックは、こういった人為の影響によって生態系のバランスが崩れ、本来多くの野生生物の中で共存していたウイルスが変異を起こして人間に感染したことが原因である。最近ワクチンができてきたが、ウイルスも変異を繰り返している。新型コロナウイルスは近年の人の

大規模な集まりとグローバルな動きに乗じて感染を広げた。感染を防ぐには3密（密集・密接・密閉）を避けることが必要となる。

人間の脳はゴリラの3倍大きい



人間の脳が大きくなった理由は何だろう

しかし、そもそも人間はこれまで3密を駆使して交流し、社会を築いてきたのである。集団の規模と脳の大きさには正の相関がある。人間の脳はゴリラの脳の3倍あるが、脳は言葉をしゃべることによって大きくなったのではない。言葉をしゃべり始めたのは7万年前、脳は200万年前に大きくなり始め、40万年前に現代人の脳の大きさに達しているからである。英国の霊長類学者ロビン・ダンバーは言葉をしゃべらないサルや類人猿を比較し、集団規模が大きい種ほど脳が大きいことを発見した。

それを脳が拡大した時代の人類に当てはめると、10～15人程度だった集団が200万年前に30人になり、現代人は150人規模まで拡大したことになる。この進化のプロセスで作られた集団の規模は現代にも残っている。

人間の集団規模とコミュニケーション

10~15人 共鳴集団
言葉が要らない

30~50人 一致して動ける
顔と性格を熟知

100~150人 信頼できる仲間
顔と名前が一致

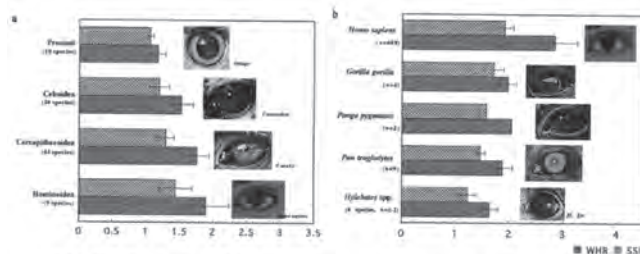


それ以上になると、身体以外の指標が必要 **言葉？**

10~15人はスポーツの集団で、言葉ではなく身体を共鳴させてチームワークを作る。30~50人は学校のクラスや布教集団、会社で言えば課や部の規模で、みんな顔や性格を知っているから分裂せずに行動できる。150人は過去に喜怒哀楽を共にした仲間たちの数で、信頼できる人々のことを指すから社会関係資本（ソーシャル・キャピタル）と言い換えてもいい。重要なのはこれらの集団はすべて言葉が介在する必要はなく、身体の共鳴によって作られていて、言葉が登場しても食料生産が始まってもその規模が増えていないことだ。

言葉が登場する以前に、どのようにして集団規模が拡大したのか。それはゴリラと人間を比較することによってよくわかる。ゴリラはサルと違って対面交渉をよくするが、人間は少し離れて対面する。それは、人間だけに白目があって、少し離れて対面すると相手の目の動きから気持ちを読むことができるからである。

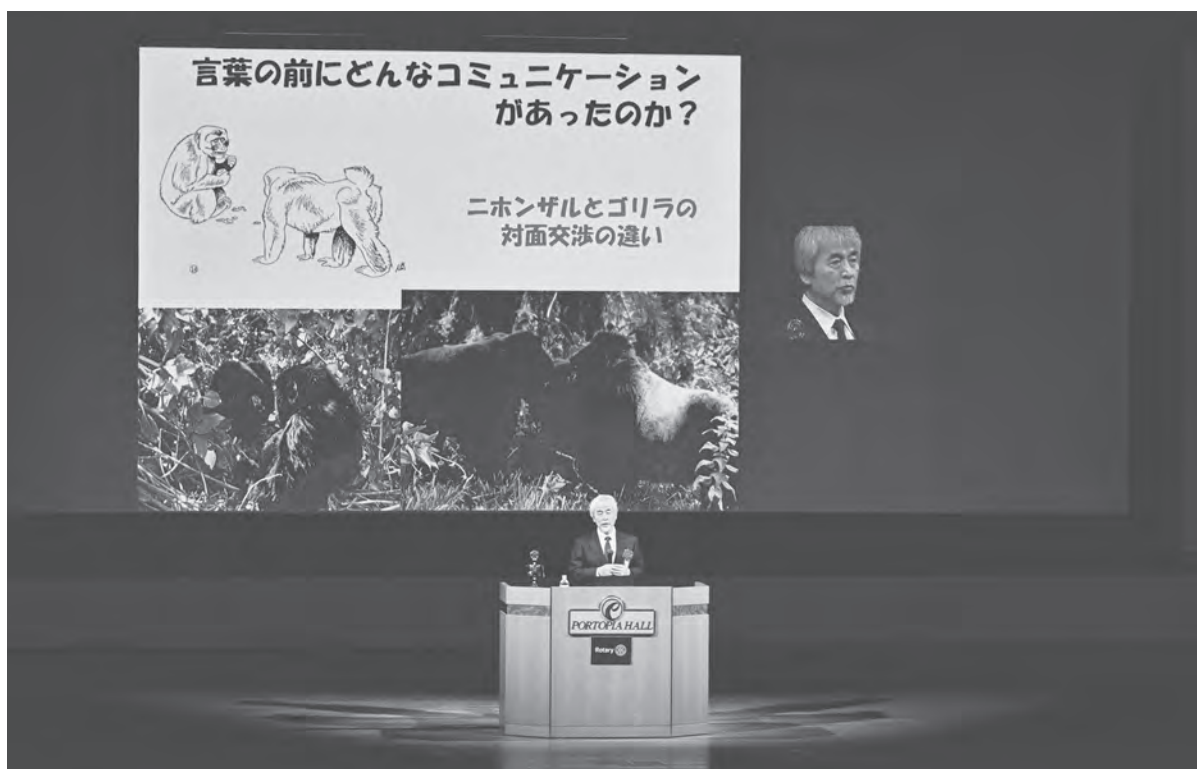
目の表情から気持ちを読む



共感能力を高める

Kobayashi & Koshima (2001)

人間はこの能力を生まれつき持っている、高い共感能力を発揮することに役立っている。人間の社会はこの高



い共感力によって作られており、それは人類の進化の初期に始まった共食と、サバンナに進出して肉食動物の捕食による死亡率の増加を補うため多産になったことが背景になっている。直立二足歩行で自由になった手を使って遠くから安全な場所の食物を運び、共食をしたおかげで人間は自分の目で見えない食物を欲望し、仲間に期待し信頼するようになった。子どもをたくさん産み、脳が大きくなると身体の成長を遅らせて脳に過大なエネルギーを送るため、頭でっかちの成長の遅い子どもを抱えて親だけでは育てられなくなった。そこで、複数の家族が連携して共同体を作り、食事と子育てを共同して行うようになった。これが集団規模を拡大し、様々な仕事を分担するためお互いの顔や性格を熟知する必要が生じて脳容量を増加させた背景である。

共感力を高める仕組み

共食



共同保育



その結果、自分の利益を増すために集団を作る動物とは違う、自分の利益を貶めても集団のために尽くす人間に固有の、共感力に満ちた社会ができたのである。それを作り上げたのは言葉ではなく、言葉をしゃべらない赤ちゃんに語りかける音楽的な音声がおとなの間に普及して、互いの壁を乗り越えて一体感をもたらすような効果を発揮したからだという仮説がある。人間が一人では克服できない艱難辛苦を協力して突破できるのは音楽というコミュニケーションをもち、共感力を高めたせいなのである。

言葉の登場はこの共感力の基礎の上に多大な恩恵を人間にもたらした。言葉によって私たちは時空を超えて情報を伝え、物語にして世界の出来事を因果関係でとらえるようになった。しかし、言葉に始まる情報革命は科学技術の発達によって加速し、私たちの心身が追いついていないままに虚構の世界を拡大してしまった。

現代は不安の時代

- ・安全=安心ではなくなった
- ・安心は独りでは得られない
- ・個人がコミュニティと切り離される
- ・個人が直接国家や行政と関係をつぶす
- ・宗教が力を失い、科学にも頼れない
- ・世界に中心がない
- ・フラットで均質な世界



身体をつながりではなく、脳をつながり（情報交換）に時間を使っている

私たちは情報を介して脳でつながるようになり、共感力を使って身体でつながることを忘れようとしている。デジタル社会の危機は物や人の均質化であって多様性を失うことにある。それを防ぐためには、人間が動き、集まり、語るという3つの自由によって社会を作ってきたことを再確認し、シェアリングとコモンズ（公共財）を拡大するような社会を目指す必要があると思う。



〔RI現況報告〕



ロータリー財団管理委員
元RI理事
三木 明
(姫 路)

**人のために世話をし、奉仕することが最良の生き方。
なぜなら、その経験を通じて誰かの人生だけでなく、
自分の人生を豊かにできるのだから……。**

RI会長 シェカール・メータ氏

上記は、シェカール・メータRI会長（カルカッタマハナガルRC：インド-西ベンガル州）のお言葉です。

シェカール・メータRI会長は、
「ロータリーが私の心に火をつけました。自分の身の回りを超えたところに目を向け、人類全体を考えるようになりました」「奉仕が私の生き方となったのです。多くの方々と同じように、“奉仕とは、自分がこの地上に占める空間に対して支払う家賃である”という信条を持つようになりました」「多様性 Diversity、公平さ Equity、インクルージョン Inclusionに対するロータリーの信念を会員が活動の指針とすることが大切である」「奉仕を通じて大きなインパクトをもたらすには、ロータリーの会員基盤を広げる必要があります。全世界の会員数は、過去20年間、約120万人のまま横ばいです。このため、2022年7月1日までに130万人に増やすことを目指して地区で率先して活動するよう、“Each One, Bring One”（みんなが一人を入会させよう）」とガバナーに呼びかけました。

また、会員基盤を広げながら、ポリオ根絶活動、COVID-19との闘い、地域社会への奉仕を続けていくのは野心的な目標であることを認めた上で、「だからこそ皆さんの意欲が駆り立てられるでしょう」「挑戦に立ち向かうのがロータリアンだからです」と語りました。

ポール・ハリス

117年前にポール・ハリスがロータリーを創立した理由は、今日のロータリーにとっても、今なお大切な意味を持っています。それは、価値観を共有する人々を見出すことです。つまり、誠実で多様性に富み、寛容で友情にあふれ、平和の大切さを分かち合える人たちです。ロータリーの親睦は、感性的な親睦だけではなく、心の友を得ることによって奉仕の心がおのずから生まれてくるのです。ポールハリスは、「ロータリーの本体は、親睦と奉仕の調和の中に宿る」と説きました。

2021-22年度 世界情勢

2021年7月1日現在

インターアクトクラブ：	16,361クラブ
日 本：	586クラブ
青少年交換：	8183名
ロータリーカード総額：	¥1,703,490,000
発行枚数：	5,055枚
ロータリーカードからポリオ根絶活動資金：	¥9,490,000

2022年2月現在（主要なハイライト）

現在のロータリー・クラブ会員数：	1,194,646人
7月1日からの純増数：	31,883人
ロータリー・クラブ数：	36,769
7月1日からのロータリー・クラブ数の純増減：	155
ローターアクト・クラブ会員数：	239,587人
ローターアクト・クラブ数：	10,964

冠名基金設立・大口寄付について

2021-22年度目標2 大口寄付:1万ドル以上のご寄付 100件以上(日本全体)

第1地域 14地区															
地区	2500	2510	2520	2530	2540	2550	2560	2570	2770	2790	2800	2820	2830	2840	合計
大口寄付数(件数)	6	3	1	1	0	2	0	2	2	2	1	0	1	1	22
前年比	(4)	(2)	(0)	(0)	(0)	(3)	(0)	(2)	(8)	(3)	(1)	(0)	(1)	(4)	(28)

第2地域 9地区										
地区	2580	2590	2600	2610	2620	2630	2750	2760	2780	合計
大口寄付数(件数)	2	0	0	0	1	1	6	9	3	22
前年比	(3)	(3)	(0)	(1)	(4)	(2)	(15)	(4)	(3)	(35)

第3地域 11地区												
地区	2640	2650	2660	2670	2680	2690	2700	2710	2720	2730	2740	合計
大口寄付数(件数)	2	1	2	3	6	2	0	5	1	0	5	27
前年比	(2)	(2)	(2)	(2)	(9)	(8)	(0)	(2)	(0)	(3)	(0)	(28)

2022年2月28日現在

2021-22年度 合計71件 (昨年度同時期比)

昨年度 合計91件

第3地域(11地区)の大口寄付数

地区	17-18	18-19	19-20	20-21	21-22	5か年累計
2640	3	3	1	2	2	11
2650	4	3	3	2	1	13
2660	6	3	2	2	2	15
2670	2	1	3	2	3	11
2680	15	5	8	9	8	43
2690	4	3	8	6	2	23
2700	0	0	1	0	0	1
2710	2	3	2	2	5	14
2720	0	2	1	0	1	4
2730	0	0	2	3	0	5
2740	0	1	0	0	5	6
合計	36	24	31	28	27	146

2022年2月28日現在

2021-22年度目標1 恒久基金:冠名基金を各地区1件以上設立

第1地域 14地区															
地区	2500	2510	2520	2530	2540	2550	2560	2570	2770	2790	2800	2820	2830	2840	合計
冠名基金数(件数)	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	5
前年比	(8)	(7)	(5)	(4)	(0)	(12)	(4)	(5)	(34)	(8)	(2)	(2)	(2)	(5)	(98)

第2地域 9地区										
地区	2580	2590	2600	2610	2620	2630	2750	2760	2780	合計
冠名基金数(件数)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
前年比	(7)	(7)	(2)	(3)	(7)	(9)	(16)	(5)	(8)	(64)

第3地域 11地区												
地区	2640	2650	2660	2670	2680	2690	2700	2710	2720	2730	2740	合計
冠名基金数(件数)	1	0	1	1	1	1	0	1	1	0	4	11
前年比	(8)	(9)	(3)	(3)	(15)	(13)	(0)	(13)	(4)	(1)	(6)	(70)

2022年2月28日現在

15件の恒久基金(2021-22年度)が設立されました。

2021-22年度 16件増 (昨年度15件増)

累計 232件

※日本ロータリー平和セラーズ基金以上記件数に含まれておりません。

第3地域(11地区)の冠名基金数

地区	17-18	18-19	19-20	20-21	21-22	累計
2640	3	1	1	0	1	8
2650	0	0	1	0	0	9
2660	0	0	0	0	1	3
2670	1	0	1	0	1	3
2680	4	1	0	1	1	10
2690	1	0	1	2	1	13
2700	0	0	0	0	0	0
2710	1	0	0	0	1	13
2720	0	0	0	0	1	4
2730	0	0	0	1	0	1
2740	0	1	0	0	4	6
合計	10	3	4	4	11	70

2022年2月28日現在

行動計画

一世紀以上前、私たちは、人と人とのつながりを礎とする奉仕のリーダーシップという新しいモデルの先駆けとなりました。今日、このつながりは、世界に広がるネットワークとなって文化間、言語間、世代間、地域間に橋を渡し、より良い世界のビジョンを分かち合っています。私たちは行動人として、このビジョンの実現には計画が必要であることを知っています。

2024年までのロータリーの行動計画は、「より大きなインパクトをもたらす」、「参加者の基盤を広げる」、「参加者の積極的なかかわりを促す」、「適応力を高める」ことです。

ロータリーのビジョン声明

*優先事項1「より大きなインパクトをもたらす」の目標

「世界を変える行動人」は、問題を効果的に解決します。ロータリアンがこれほどの活動実績をあげているのはなぜでしょう。私たちは、人と人との関係に投資します。

「より大きなインパクトをもたらす」とは何を意味しますか？

私たちは皆、永続的な何かを後世に残したいと願っています。それは、地域社会にもたらす持続可能な変化であり、世界中の人びとの人生をより豊かにすることです。

*優先事項2「参加者の基盤を広げる」の目標

「世界を変える行動人」は、互いに刺激しあい、インスピレーションを与えあいます。多くの方は、より大きな目的意識、そしてデジタル世界では得られない直接的な人との交わりを求めています。これらの人がロータリーを第一の選択肢として選ぶために必要なものが、ロータリーにはあります。

「参加者の基盤を広げる」「世界を変える行動人」は、互いに刺激しあい、意欲を高めあいます。目標を共有する人たちが一緒に活動できるよう、つなかりと機会をつくり出していきます。

*優先事項3「参加者の積極的なかかわりを促す」の目標

「世界を変える行動人」は、人びとのニーズを理解しようと努めます。ロータリーは、時代や国を超

えた関係を培うことのできる素晴らしい団体です。「参加者の積極的なかわりを促す」とは何を意味しますか？

個人として、また地域社会の一員としてロータリーと共に何ができるのかを、あらゆる機会に伝える必要があります。

*優先事項4「適応力を高める」の目標

「世界を変える行動人」は、独創性があり、起業家精神にあふれ、困難にもくじけません。ロータリーとは何か、なぜ重要なのかを、私たちは知っています。私たちは、明るい展望をもち、ロータリーが地域社会、世界、そして人類にとって欠かせない存在であるという信念をもって活動します

「世界を変える行動人」は、独創性があり、起業家精神にあふれ、困難があっても立ち直ります。自己に忠実でありつつ、これからの115年間も時代の先を行きましょう。

「適応力を高める」とは何を意味しますか？

いかにして変わりゆく世界に迅速に適応するか、いかにして新しい考え方をロータリーの強化につなげるか、どのような新しいアイデアが持続可能な変化を生むことができるかを、私たちは考える必要があります。

ポリオ根絶に向けて

2022年2月24日、アフガニスタンのクンドゥズ州とタカール州で8名の保健員が殺害されたことを知り、ロータリーは非常に悲しんでいます。犠牲者のご家族に深く哀悼の意を表します。

2022年2月21日に始まったアフガニスタンの全国ポリオ予防接種キャンペーンは、クンドゥズ州とタカール州で中断しています。

ポリオ根絶に向けて医療の提供は公平であり、医療従事者に対する攻撃は、医療従事者が守ろうとしている命そのものである子どもたちへの攻撃となります。すべての当事者は、保健医療介入の中立性を尊重し、守り、病気の予防とコミュニティの向上に尽力しているすべての保健医療従事者の安全を確保しなければなりません。

ロータリーと世界ポリオ撲滅推進計画のパートナーは、アフガニスタンの人々がポリオを永久に根絶するために重要な活動を続けていけるよう、今後も支援を続けていきます。

マラウイでの1型野生株ポリオウイルス検出

パキスタンからのウイルス流入であるためWHOアフリカ地域の野生株ポリオ根絶の認定には影響を与えません。解析の結果、このウイルスは、パキスタンのシンド州で伝播していたWPV1と遺伝的に関連していることが判明しました。

ポリオ常在国である2カ国（パキスタンとアフガニスタン）以外でWPV1が検出されたことは、深刻な懸念であると同時に、さらなるウイルス流入を防ぐためにマラウイなどの国でポリオの予防接種活動を優先させることが重要であることを示しています。

DEI (多様性・公平さ・インクルージョン) へのロータリーのコミットメント

ロータリーで私たちは、持続可能な良い変化を生むために人びとが手を取り合って行動する世界というビジョンの実現には、多様性があり、公平で、インクルーシブ (包摂的) な文化を培うことが不可欠であると理解しています。私たちは多様性を重んじ、すべての背景、年齢、民族、人種、肌の色、障害、学習スタイル、宗教、信条、社会経済的立場、文化、婚姻状況、使用言語、性別、性的指向、ジェンダー自認だけでなく、異なるアイデア、考え、価値観、信念を持つ人びとによる貢献を大切にします。高潔性というロータリーの価値観に従い、DEI (多様性、公平さ、インクルージョン) にいたる旅路において組織として自分たちがどこにいるのかを正直かつ透明性をもって見据えるとともに、これからも学び、向上し続けていくことに全力を尽くします。

未来を見据えて行動してゆこう…

以前のやり方と違う方法を見つけ行動しよう…

ウクライナ人道支援

コロナパンデミックに社会情勢が混乱する中で、さらなる困難な事態が起きました。ウクライナで深刻化する人道的危機に対するため、ロータリー財団は、ロータリーが行っている救援活動を支援するため、世界中のロータリー会員が資金を提供できる公式な手段を設け、災害対応基金を主な寄付の手段として指定しました。ジョン・ジャームロータリー財団管理委員長から送られてきた文書を許可を得て掲載します。

「ロータリー・クラブとローターアクト・クラブは、ウクライナの人的危機に対して独自に対応することが奨励されていることは言うまでもありませんが、災害対応基金はロータリー財団が支援する大きな手段となります。また、未配分のDDFは歓迎されることをご承知おきください。

国連の推計によりますと、避難民の数は500万人にまで膨れ上がる可能性があります。ヨーロッパをはじめ、世界中のロータリー・クラブが救援活動を強化し、中には現地で避難民の支援に当たっているクラブもあります。国際ロータリーは、国連難民高等弁務官事務所と連絡を取り合い、ウクライナ国内および近隣諸国への避難民のニーズに対応するための準備も行っています。

「ロータリー災害救援基金」は、水、食料、医薬品、衣料などの基本的な品目と、この危機の難民を支援するための緊急支援に充てられます。食料品、ベビーフード、衣類、介護用品や医薬品なども必要とされています。

ロータリーの究極の目的である平和が崩れることはもっとも悲しいことです。平和な暮らしをしていた人々が、突然家族を失い、家を失い、友人や仕事を失い、祖国から逃げださなければならない、寄るすべのない日々を過ごしていることに胸がつぶれる思いです。」

WHO Media ウクライナ緊急事態に関する 状況報告第1号 (2022.3.5)

公衆衛生に関する優先事項

紛争に関連した外傷や傷害は、患者や医療スタッフが医療施設にアクセスできず、救命薬品や物資の入手ができないことで悪化している。

非伝染性疾患（心臓血管、糖尿病、癌など）や母子・新生児疾患など、サービスの途絶による一般的な病気による高い罹患率と死亡。

水と衛生インフラの広範な破壊、不十分な予防接種率、医薬品と医療へのアクセス、安全な水、適切な衛生環境、さらに人口移動と混雑によるCOVID-19、麻疹、ポリオ、結核、HIV、下痢性疾患などの感染症の蔓延。精神衛生と心理社会的健康-紛争とCOVID-19の2年間による大きなストレスによるもの。

ウクライナおよび周辺国の保健省を支援するための健康対応の調整。

公衆衛生リスクと医療施設・サービスの評価の実施。サーベイランスと健康情報を拡大し、アウトブレイクを早期に発見・対応し、健康ニーズ、健康脅威、健康サービスの機能性と有効性をよりよく理解する。

優先的な健康問題に対処するためのWHOの技術支援と急増スタッフの提供。

ならびに緊急医療チーム、対応するためのネットワーク、グローバル・ヘルス・クラスターなどによるパートナーの動員。

医薬品、診断薬、予防用品を届けるための保健用品と物流能力を提供。

保健医療に対する攻撃を監視。

WHO職員と実施パートナーの安全の確保。

ロータリー災害救援基金へのご支援を

My ROTARYの「ロータリー災害救援基金」あてにロータリアン、ローターアクター、ロータリーファミリーの皆様のご支援を下さいますようお願いしております。

ロータリーがしかるべき運命を切り開くには、常に進化し、時には革命的にならなければなりません。

ポール・ハリス

ご清聴ありがとうございました。



〔地区現況報告〕



ガバナー
吉岡 博忠
(伊 丹)

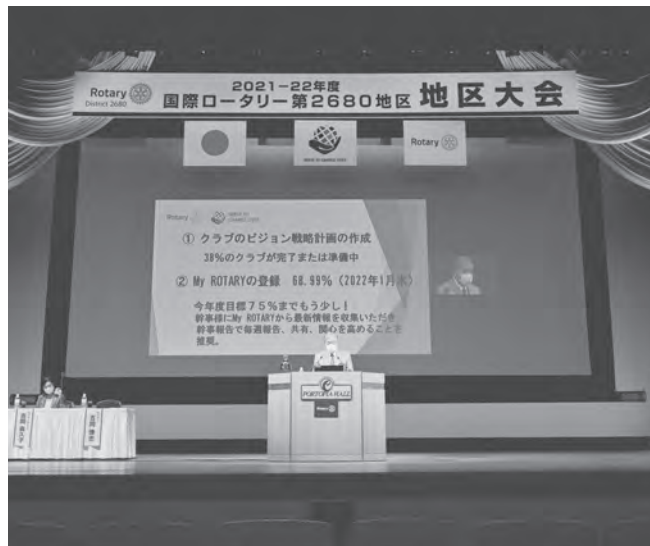
ガバナー行動指針を“ For the dynamic Leaders of futures with Rotary “ 「ロータリーとともに活力に満ちたリーダーを育てるために」とさせていただきます。

このような感染拡大のなかで巣ごもりするのではなく、あらためて「親睦」と「奉仕」の実践のための「学び」にスポットを当て、リーダーの「人材育成」を標榜させていただきます。

これはロータリアンのみならず、ロータリアンに関わる全ての人々、従業員、関係団体等々……

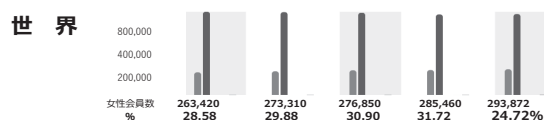
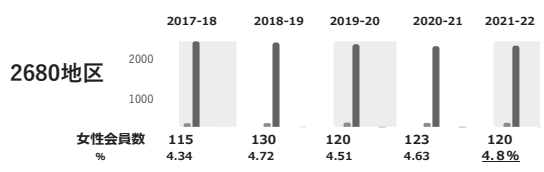
Dynamic…行動的な、力強い、生き生きとした、活力に満ちたリーダーを育てるためにとしました。

「人材育成」はロータリーの大きなターゲットの一つであり、ロータリーのプログラム全てが「人材育成」につながります。

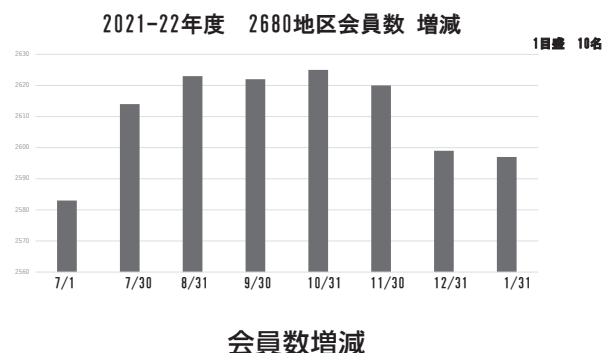


クラブ数 71RC
会員数 2,597名 (+14名)
うち女性会員 120名
(地区内会員の4.8%)

地区の現況 (年度内増減)



2680地区と世界の女性会員比率



公式訪問はRC71クラブ・RAC9クラブ全てを訪問し、RC会長・幹事懇談会では、

- 一. 戦略計画とビジョン
- 二. 定款細則とクラブ自治権
- 三. 危機管理特にハラスメント
- 四. SRF (Shaping Rotary Future) ロータリーの未来形成の概略

について、また卓話では、主にRI会長方針及びロータリーの人材育成について述べさせていただきました。

一 戦略計画とビジョン…

会員の意識一体感を目的とした戦略計画とビジョンの策定を薦め、将来のクラブのあるべき姿を、ビジョンとして言葉で表し会員が共有するため、委員会又はグループの設置を薦めました。

ロータリーのビジョン声明「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています」及び2680地区ビジョン「私たちはロータリーの「中核的価値観」・「奉仕の実践」を推進し、自らの人間力を高め、活気にあふれ、魅力あるクラブを目指し、地域社会や世界に持続可能な良い変化を生むために行動します」を参照としていただくことを薦めました。

現状は、

- ①38クラブが、クラブビジョン戦略計画の作成が完了または準備中です。
- ②「My Rotary」登録率は69%です。今年度目標の75%まであと少しです。ロータリー基礎情報取得のためのツールであり、今は登録から活用の段階にあります。この活用により大きな交流の場となります。新会員は入会時での登録をお願いします。

グループ別登録率は、

- 尼崎グループ……………89%
- 阪神第1グループ……57%
- 阪神第2グループ……68%
- 阪神第3グループ……70%
- 神戸第1グループ……56%
- 神戸第2グループ……76%
- 東播第1グループ……68%
- 東播第2グループ……64%
- 東播第3グループ……61%
- 淡路グループ……………74%
- 西播第1グループ……66%
- 西播第2グループ……70%
- 但馬グループ……………79%

です。

二 定款・細則とクラブ自治権…

2019年手続要覧から、「ロータリーの基本理念」、とりわけ「社会奉仕に関する1923年の声明（決議23-34）」、「ロータリーの目的」の理解を深めることを基礎として、クラブ自治権を意識した細則策定の重要性を解説させていただきました。クラブ自治権確立のためには「ロータリーの基本理念」の十分な理解が必要です。またロータリー標準クラブ定款との整合性及びクラブ理事会の決定がクラブ細則に反映されているかの確認が重要です。

三 危機管理について・・クラブ運営における感染拡大防止及びハラスメントについて

42%のクラブが、危機管理委員会を設置されています。小人数クラブにおきましては、必要と認められる場合は、あらかじめ人選していただき有事に備

える体制を整えていただくことを推奨しました。

例会開催の多様化を図っていただくと共に会員のITリテラシー向上にも配慮いただくことをお願いしました。

前年度までに25%のクラブが、オンライン例会（ハイブリッドを含む）を経験されています。現在ではさらに進み50%以上のクラブがオンライン開催の経験をされていると推測されます。

ハラスメントについて、ロータリーにハラスメントが存在する余地はありません。ハラスメントがあれば、誰も、入会しロータリーで活動を続けたいと思いません。ハラスメントのない環境を維持するという方針は、ハラスメントが一切容認されないことです。ロータリーが「恐れのない組織として、強くあたたかいクラブ運営をお願いしました。そのためには、

- 理念の共有・浸透……会員のロータリーへの共感を高め、行動を促進する「主体性・貢献意欲」を醸成します。
- 関係性づくり……会員をロータリーに定着させ、相互に支え合えるような組織となり「愛着・居心地」を生み出します。
- 個別支援……一人一人の特性を把握しながら活躍の場所をつくり「自己重要感」と個人の能力を向上させます。

四 SRF (Shaping Rotary Future) ロータリーの未来形成について…

国際ロータリー創立以来、初めての組織改革(SRF)について、4月実施の規定審議会の結果から、私たちのロータリーがどのように変革するか注視する必要があります。

クラブ活性化のための「推奨事項」

- クラブ運営継続の観点より、ビジョンを中心に直前会長、現会長、会長エレクト、会長ノミネー及びそれぞれの幹事によるクラブの現状、将来を語る「場」を設けられる事を推奨します。
- クラブ間の情報共有の観点より、グループ別ガバナー補佐・会長・幹事合同会議の定期的開催を推奨します。
- 対面例会・会議が不可能な場合は、オンライン（ハイブリッド）開催を推奨します。いつでも、どこでも、だれでも、参加できるクラブ例会・会議の多様性の取組みをお願いします。

私たちロータリアンは世界のロータリアンとつながっています。

「人材育成」につながる「ロータリアンの力とつながり」について、アフガニスタンの例をご紹介します。月信9号にも掲載させていただきました。1月、ネパールの友人・Udaya Galtaula氏（カトマンズ西クラブ）より、伊丹クラブ・オンライン例会にメイク・アップ希望のメッセージが届きました。1月20日伊丹クラブ例会にご夫妻で出席していただき、お二人よりスピーチをしていただきました。Udaya Galtaula氏はRID3292カトマンズ西クラブ所属、奥様は（Shibani Basnetさん）、ネパール外務大臣秘書です。お二人のスピーチは実に驚くべき内容でした。まず奥様のスピーチ要旨は、『1月16日、チャーター便によりネパール史上初めて、女性二人でアフガニスタン・カブールへ日帰りのフライトにより、人道支援物資約10トン（医薬品、衣類、家庭用品等）を届けました。現地ではタリバンから大歓迎を受け、無事このミッションを完遂することができました。アフガニスタンでの人道支援ミッションを実現する素晴らしい機会を与えてくれたロータ

リーの友人たちと、達成に導いてくれた外務大臣 Dr.Narayan Khadka氏に深く感謝しています。またロータリアンの人類への奉仕の精神を通じて、この歴史的な使命の準備と遂行に私を動機づけ、最も貴重な道徳的支援を与えてくれた素晴らしい夫Udaya Galtauraに感謝します。』というものです。ロータリアンの力とつながりの原点・家族との深いつながりを感じます。次に、Udaya Galtaura氏のスピーチ要旨です。『私は妻が乗った飛行機がレーダーから消え、墜落したのかと大変心配しましたが、カブール着陸直後、妻から連絡があり安心しました。これは米軍のテロ対策で撃墜を防ぐための措置でした。今回のアフガニスタン人道支援ミッションは、ロータリアンとして世界各地の平和構築活動を支援するためサポートさせていただきました。当クラブでは、ネパールの平和構築プロジェクトや奉仕プロジェクトを通して、紛争や対立の課題に取り組んでいます。日本のロータリークラブとの共同プロジェクトを期待しています。』というものです。



私たちロータリアンの仲間は正に「人材の宝庫」です。その入口であるクラブ例会から、IM、地区大会、国際大会へと続き、世界のロータリアンとつながっています。全てのロータリアンはこの世界の学びの場まで出席できる権利を持っています。この大きな「親睦」と「学び」の場を、皆さま共々存分に活かしたいと存じます。



〔大会特別委員会報告〕

■大会登録委員会報告



大会登録委員長
前田 隆則
(伊 丹)

大会登録委員会よりご報告申し上げます。
今年度も、COVID-19感染拡大防止対策として、地区大会を無観客のオンライン開催といたしました。
ロータリーディナーパーティー及び会員家族懇親会は中止とし、会長・幹事会、ロータリー研修セミナー、ロータリーファミリーの集いおよび本会議は、オンライン開催とさせていただきました。
また、地区外のロータリアン及びロータリーファミリーの参加もご遠慮いただきました。
その結果、本地区大会は全員登録と致しました。
あらためまして、皆さま方の厚い友情に感謝し、大会登録委員会からのご報告とさせていただきます。
ありがとうございました。

■大会信任状委員会報告



大会信任状委員長
高瀬 英夫
(西 脇)

大会信任状委員会よりご報告申し上げます。
地区内71ロータリークラブから信任状が提出され過日精査いたしました。
それに基づき、昨日13時00分より委員会を開催し、71ロータリークラブ107人の皆様がいずれも国際ロータリー細則第15条050.1項に対し、適正に選任されていることを確認いたしました。
ここにご報告いたします。

■大会決議(案)上程



大会決議委員長
浅木 幸雄
(神 戸)

大会決議委員会から、本大会の大会決議案を上程させていただきます。
決議案はパンフレットの17ページから18ページに記載の通り、第1号から8号まででございます。
以上、上程させていただきます。

■大会決議(案)採決方法



ガバナー

吉岡 博忠

(伊 丹)

ありがとうございました。

それでは、ただいま上程されました決議案に対して、本来ならば、この場で皆様の承認をいただくべきところではございますが、今年度は、ライブ配信のため、この場で賛否を取ることができません。

つきましては後日、各クラブへ電子投票用紙をお送りいたします。選挙人に、ご投票いただきますようよろしくお願いいたします。

「2021-22年度地区大会決議(案)」電子投票結果のご報告

地区大会「本会議」において上程された「2021-22年度地区大会決議(案)」について、地区大会後、地区内全クラブによる電子投票の結果を報告いたします。皆様のご協力に厚く感謝申し上げます。

署名人: 信任状による選挙人 107名

回 答: 71ロータリークラブ (2022年3月現在)

承認: 107名

上記のとおり全ロータリークラブからご承認を頂戴いたしました。

ガバナー 吉岡 博忠
大会決議委員長 浅木 幸雄

■ガバナー指名委員会報告



ガバナー指名委員長

室津 義定

(尼崎中)

ガバナー指名委員会の審議状況をご報告申し上げます。

ガバナー指名委員会は、国際ロータリー細則第12条、030節の規定に基づき、設置されたものであり、2680地区では地区のPastガバナー中、就任年度の若い順に5名のPastガバナーで構成され、就任年度の一番古いPastガバナーが委員長を務めることが定められています。その任務は、ガバナー・ノミネー候補者1名について、本人の受諾の意志を確認したうえで、所属クラブの同意を得て、地区ガバナーに推薦することです。これまで、10月15日、12月24日に、ガバナー指名委員会を開催し、ガバナー候補者の指名について審議しましたが、それ以降、指名委員会を開催できず、候補者を特定するに至っていません。期限内に候補者を決定いたしますので、ご了承くださいませようお願いします。以上、ご報告いたします。

地区大会決議

2021-22年度
国際ロータリー
第2680地区

決議第1号

2021-22年度のRI会長テーマ推進に 協力する件

国際ロータリー会長シェカール・メータ氏は、本年度のRIテーマとして「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」“SERVE TO CHANGE LIVES”を掲げ行動されている。

我々は、本大会を機に決意を新たにし、RI会長テーマ推進のため、さらに協力することをここに決議する。

決議第2号

国際ロータリー第2680地区直前 ガバナー高瀬 英夫 氏への感謝の件

直前ガバナー 高瀬 英夫 氏は、2020-21年度ガバナー在任中、直前国際ロータリー会長ホルガー・クナーク氏のRIテーマ「ロータリーは機会の扉を開く」“ROTARY OPENS OPPORTUNITIES” 推進のため、熱心かつ誠実に地区の運営に尽力し、ロータリーの発展のために多大な貢献をされた。

我々は、直前ガバナーに対し、深甚なる感謝の意を表することをここに決議する。

決議第3号

ポリオ根絶活動に関する件

ポリオの根絶は、長年にわたってロータリアンが大きな力を注いでいる活動である。パートナー団体とともに、世界中の子どもた

ちにポリオ予防接種を実施し、発症数ゼロに99.9%到達しているが、いまだ根絶には至っていない。我々は、目標を実現するまで根絶活動を継続することをここに決議する。

決議第4号

COVID-19感染症に対する地域への取り組みに関する件

国際ロータリー第2680地区は、COVID-19感染症に対し、地域内での感染拡大防止のための奉仕活動を実施するとともに国および地方公共団体等に全面的に協力することをここに決議する。

決議第5号

2022年ヒューストン国際大会に関する件

2022年6月4日（土）から8日（水）に開催される2022年ヒューストン国際大会が有意義かつ成功裏に終わるよう、我々は、積極的に参加し協力することをここに決議する。

決議第6号

兵庫県および伊丹市、ならびに関係諸団体への感謝の件

本大会開催に当たって、兵庫県および伊丹市、ならびに諸関係団体から賜ったロータリーに対するご理解とご協力に対し、我々は、深甚なる感謝の意を表することをここに決議する。

決議第7号

ホストクラブへの感謝の件

本大会が、地区内外より多数の参加者を得て盛大に開催されたことは、ひとえにホストクラブである伊丹ロータリークラブとコ・ホストクラブである川西、伊丹有明、川西猪名川、伊丹昆陽池、西宮イブニングロータリークラブの、長期にわたる周到な準備と献身的なご努力の賜物である。よって本大会は、これらのクラブ会員に対し、深甚なる感謝の意を表することをここに決議する。

決議第8号

次年度地区大会に関する件

2022-23年度国際ロータリー第2680地区 地区大会を、宝塚中ロータリークラブをホストクラブ、および宝塚、三田、篠山、柏原、宝塚武庫川、三田南、HYOGOロータリーEクラブの各ロータリークラブをコ・ホストクラブとして、2023年3月4日（土）・5日（日）の両日において、神戸市で開催することをここに決議する。

※2022年4月1日（金）、宝塚ロータリークラブと宝塚中ロータリークラブは合併致しました。

〔挨拶〕



ガバナーエレクト

阪上 栄樹

(宝塚中)→(現 宝塚)

※2022年4月1日(金)宝塚RC・宝塚中RCが合併

宝塚中ロータリークラブの阪上栄樹でございます。

“For the dynamic Leaders of futures with Rotary”「ロータリーとともに活力に満ちたリーダーを育てるために」を今年度のガバナー行動指針としてられました吉岡博忠ガバナーの地区大会は、昨年に続いてCOVID-19感染拡大対応の為、懇親を伴う通常通りの開催が出来なくなりました事、吉岡ガバナーの心中をお察し申し上げます。しかし、出来る限りの知恵を絞って開催される今回の地区大会も、今後のロータリー活動の指針となるものだと思います。まずは、2021-22年度の地区大会が、吉岡ガバナーのリーダーシップの下に開催されました事、心よりお慶び申し上げます。

一昨年9月にガバナーノミニーとして指名されて以来、多くの地区委員会やセミナーに出席させて頂き、地区の活動の重要性に気付かされてまいりました。これまでもですが、これからも時代に合わせてロータリーは大きく変わろうとしています。変革を恐れずに、時代にあったロータリークラブを模索してまいります。

ロータリーの重点分野に今年度より7つ目の分野として「環境」が加わりました。このような変化にも対応しながら、浅木年度地区戦略計画委員会で決まりました地区ビジョンと地区戦略計画を全うすべく努力してまいります。さらに、今まで受け継がれてまいりました当2680地区の良さも守っていかねければと思っております。

ロータリーの明日に夢を込めてロータリーを楽しもうと思っております。

次年度に向けて後4ヶ月を切りましたが、私自身はまだ研鑽の途上でございます。本日この場に集われましたロータリアンとロータリーファミリーの皆様、オンラインでご参加の皆様、吉岡丸に続く阪上丸にもご支援ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



〔挨拶〕



ガバナーノミネー

安行 英文

(三 田)

名誉ある2680地区、地区大会の会場におきまして、親愛なるロータリアンの皆様を前に致しまして、ただいま、ご紹介いただきました三田ロータリークラブの安行英文と申します。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。この度、正確に申しますと昨年8月に丸尾研一ガバナー指名委員長から打診をいただき、正式に9月に指名を頂き、熟慮の末、大役をお受けすることになりました。

私が、ロータリーに最初に出会ったのは今から39年前、当地区のRYLAプログラムの受講生として20代の頃、余島野外活動センターに参加した時に遡ります。学生当時から今井鎮雄先生にはお世話になっていたのですが、その時の出会ったロータリアンの人たちの人格に触れたことがきっかけで、「奉仕」の世界に導かれたと言ってもいい、出会いだっただけです。こんなにも若者に真摯に向き合って、話を聞いてくれる、自分の人生を語ってくれる。そのような大人に出会ったのは初めてでした。そのときから、私の中では「ロータリーってすごいんだ」と感じたのです。えっ？今でも、その考えは変わらないかって？もちろん、数々の出会いがあるロータリーですが、その当初の「素晴らしい」という感覚は今でも消えていません。それだけロータリーは魅力のある所、素晴らしい人に出会える所だと思っています。

その後、今井先生に言われるままに、YMCA、ロータリーへと誘われ、いつもいつも教えられていたことは、「ユニバーサルな社会をどう作るのか」という問いかけだったように思います。言い換えれば『インクルーシブ教育』でした。阪上年度のDEIの一つです。すべての人が尊重され、その特性によって、できることを最大限に発揮するとともに、必要な支援を得ることが出来る社会、それを可能にする個々人の思いを満たしていく社会、その実現に向けて学びを追

求していく、このことに動かされてきて今現在にいたっています。そして思ったんです。「いつか、恩返しをしよう」と。そしてもし、何かの機会があればいつかあの出会った大人の人たち、つまりロータリアンのことなんですが、その人たちに恩返しをしようと思っていました。それがロータリーに身を置いてきた理由でもあります。

今回、奇しくもガバナーノミネーにご指名を頂きました。この恩返しの機会を何としてでも捉えて、この2680地区の各クラブへ恩返しをさせていただきたく、神か仏が命じたのだと感じました。しかし、何分浅学非才、未熟者ゆえ、皆さまにご迷惑をおかけすることは目に見えています。そこで、高い所からではございますが、地区内ロータリアンの皆様には支えていただき、特に阪神第3グループの皆様には特段のご支援ご協力を頂きながら、2023-24年度ガバナーの大役を務めさせて頂きたいと思ひます。

どうぞ、よろしくお願ひ申し上げます。



〔参加クラブ代表挨拶〕



三田ロータリークラブ会長代理

西上 俊彦

(三 田)

ただいま、ご紹介にあずかりました、三田クラブ会長代理の西上俊彦でございます。本来なら当クラブ藤埜貴夫会長がご挨拶を申し上げるべき所、療養中につきまして会長に代わり、僭越ではございますが、一言、参加クラブ代表としてご挨拶申し上げます。当2680地区 地区大会も3年連続変則的な開催となり、吉岡ガバナーにおかれましても大変なご苦勞をなされたことだろうとご推察申し上げます。

まずは、大会にご祝辞をいただきました、シェカール・メータRI会長様、齋藤元彦兵庫県知事様、藤原保幸伊丹市長様、そして本大会に有意義な厚みを添えていただきました矢野宗司バスターガバナー・地区研修リーダー様、2840地区、2017-18年度ガバナー田中久夫様、そしてジャストタイミングな「環境」という7つ目の重点分野の開始年度に、本日ご講演いただきました総合環境学研究所所長の山極壽一様に貴重なご講演を賜り、私たちに温かいご指導を頂きましたこと心から御礼申し上げます。また、地区大会に向けて様々な準備をされてこられました伊丹ロータリークラブの皆様、地区関係の皆様にご心より感謝申し上げます。

今年度、吉岡博忠ガバナーは提唱されている「人材育成」を中心とした地区運営を遂行されておられます。そのような中で、今大会の「ロータリーファミリーの集い」は2680地区で脈々と受け継がれてきた青少年の育成の集いの一環でもあり、「私たちの世界を次世代の人たちにどう伝えていくのか」「私たちが願っている次世代の人たちというのはどういう形に伸びていくのか」これは全てのロータリーファミリーの共通の地盤であると思っています。まさにガバナーの思いが集約された集いではないでしょうか。そして、その青少年

育成に長け、ノウハウを備えている人間が次に紹介する安行会員であります。

昨年、ガバナー指名委員会の丸尾研一委員長より当クラブの安行英文会員がガバナーノミニーの指名を受けましたことは、まことに光栄であり、弱小クラブにとってはかなりの重責を感じたのも事実です。本人はもとよりクラブも2680地区各クラブの皆様にお支えいただかなければ、とても役職をこなすことは不可能と感じております。どうか、ご支援とご協力のほど衷心よりお願い申し上げまして、参加クラブ代表の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。



〔次年度ホストクラブ挨拶〕



クラブ会長
大門 美智子

(宝塚中)→(現 宝塚)

※2022年4月1日(金)宝塚RC・宝塚中RCが合併

宝塚中ロータリークラブの大門です。一言ご挨拶申し上げます。

私たち宝塚中ロータリークラブは歴史が浅く会員数も少ないこじんまりしたクラブです。特徴といえば、女性会員が多いことでしょうか。こんな弱小クラブにガバナーを出せるのかとご心配をいただいたことと思います。

私たちも不安でございましたが、この1年間吉岡ガバナーと伊丹ロータリークラブの皆様の指導の下に下見学させていただいたり、ガバナーエレクト輩出クラブとしての仕事を担当させていただくうちに、生意気でございますが、次期阪上ガバナーとホストクラブとしての、役割や今後の課題なども理解いたしました。良い準備期間となりました。ありがとうございます。

始まってみると、まるで水を得た魚のようにこの仕事がよく似合う古川会員が代表幹事を務めさせていた

できます。この古川会員と我がクラブの重鎮竹原幹事の指導の下に、着々と準備してまいりました。

お伝えし忘れてましたが、私たちは親睦が大好き仲良しクラブです。団結力には自信がございます。この団結力を武器に1年間頑張ってまいります。

さて次期阪上ガバナーの行動指針はLet's enjoy rotaryです。名実ともにロータリー活動を楽しみたいと思います。

しかしながら歴史ある2680地区の高潔さを失うことのないように十分配慮してまいります。使命感を持ちまして、きっちりと着実に、行動していく所存でございます。

諸先輩方からみますと、不行き届きな点が多々あるかと思いますが、温かい目で見守っていただきたく思います。皆さまのご指導ご協力をお願い申し上げ挨拶とさせていただきます。



〔所 感〕



直前ガバナー

高瀬 英夫

(西 脇)

地区大会の終盤にあたり、お礼とお願いを申し上げます。

COVID-19の影響で、一昨年（浅木年度）はデンマークからRI会長代理が来神されていましたが、急遽一日開催に変更（対面での会長・幹事会中心のプログラム）し、昨年（高瀬年度）はオンライン（YouTube配信）での一日開催となりました。

今年は、吉岡ガバナーの「オンライン開催はやむなしとしても、将来につなぐべく、例年通りのスケジュールでやりたい」との強い想いを受け止め、中島実行委員長、杉本会長はじめ、伊丹RCの皆様の大変なご努力のおかげで、期待以上の成果を残し幕を閉じようとしています。関係各位のご努力に敬意を表し、感謝申し上げます。そしてご視聴いただきました会員の皆様ありがとうございました。

兵庫県知事・齋藤様からはビデオで、伊丹市長・藤原様は会場からご祝辞を賜りました。また、田中久夫PDG、山極先生には、遠路来神いただき、会場よりご講演いただき、更に三木明ロータリー財団管理委員・

元RI理事によるRI現況報告は、会員の皆様に大きなインスピレーションを与えてくださいました。厚く感謝申し上げます。

最後に、昨年ご逝去された斎藤直美元RI理事を偲ぶ会で紹介されたロータリーの真髓とされた同氏の言葉をご紹介します。

「出席なくして 親睦なし」

「親睦なくして 奉仕なし」

「奉仕なくして 感動なし」

ロータリーに入り、積極的に関われば、多くの仲間と共に皆様のお役に立ち、多くの感動に心を震わせる機会に恵まれるということでしょう。

「我々ロータリアンはそのような輪の中にある事を再認識し、また明日からの例会に出席し、ロータリーをENJOYしようではありませんか」と呼びかけあい、来年こそ通常の対面でお互いの絆を深め合う地区大会となりますよう切望し、お礼の言葉と致します。



〔謝 辞〕



ガバナー

吉岡 博忠

(伊 丹)

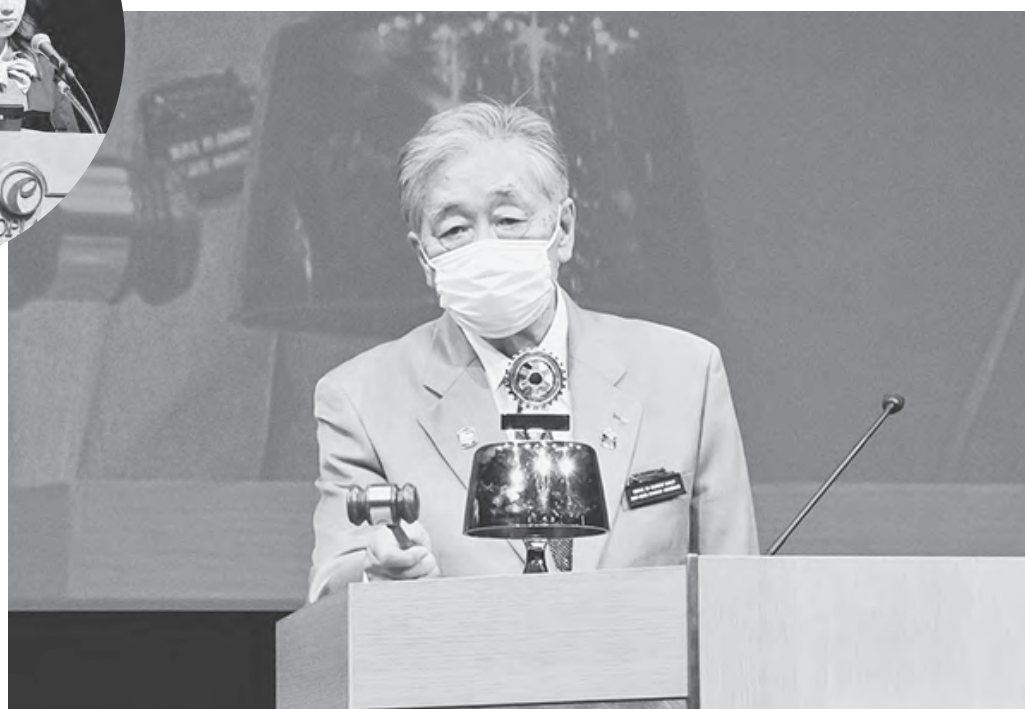
国際ロータリー第2680地区 地区大会開催の二日間にわたりましてご参加いただき、皆様に深く感謝申し上げます。

まだ年度はあと3か月残っておりますが、早くCOVID-19感染拡大が収束し、私たちが残すプロジェクトを完遂したいと決意をあらたにしました。なにとぞ皆様のご協力を賜りますようお願いいたしますとともに、オンライン上ではありますが、この地区大会では多くのロータリアン、ロータリーファミリーの温かいお心遣いと友情にふれることができました。ロータ

リーの全てのプログラムが人材育成につながり、かつ自分自身の糧になると確信した地区大会でした。また皆さまのロータリー活動がクラブ・地区・全てのロータリーファミリーの心を磨くことにつながっていると確信した地区大会でもありました。

惜しむらくは対面での懇親がもてなかったことは、誠に残念でありましたが、6月の「感謝の集い」開催に期待したいと存じます。

あらためまして、心より御礼を申し上げ本大会を閉会させていただきます。ありがとうございました。



〔2020-21年度〕（対象期間：2020年7月1日～2021年6月30日）

RI表彰

ロータリー賞

神戸
加古川中央
加古川平成
姫路

ロータリー財団表彰

100%ポール・ハリス・フェロー・クラブ

豊岡

ロータリー財団年次寄付 1人当たり寄付額 上位3クラブ

伊丹
神戸東灘
神戸西神

ロータリー財団年次寄付 寄付額 上位3クラブ

神戸
伊丹
加古川

100%ロータリー財団寄付クラブ

（正会員全員が寄付分類に関わらず少なくとも25ドルの寄付をして、
一人当たりの平均寄付額が100ドルに達しているクラブ）

尼崎
尼崎北
尼崎東
尼崎西
尼崎南
尼崎中
伊丹有明
伊丹昆陽池
芦屋
芦屋川
HYOGO ロータリーEクラブ
明石
明石東
明石北
北条
淡路三原
あわじ中央
姫路
姫路南
姫路西
姫路東
姫路中央
赤穂
相生
生野

Every Rotarian, Every Year クラブ

（正会員全員が年次基金へ少なくとも25ドルの寄付をして、
一人当たりの年次基金平均寄付額が100ドルに達しているクラブ）

伊丹有明
西宮
甲子園
西宮恵美寿
宝塚
三田
篠山
柏原
宝塚中
神戸南
神戸六甲
加古川
加古川中央
加古川平成
小野加東
西脇
相生
龍野
香住
豊岡円山川

ロータリー財団への寄付

メジャードナー

伊 丹 吉岡 博忠
 神戸東灘 苦瓜 顕一
 西 脇 藤本 武彦

ポール・ハリス・ソサエティ

尼 崎 東 小坂 圭一
 篠 山 小南 稔彦
 神 戸 井植 貞雄
 神 戸 西 矢坂 誠徳
 神戸須磨 橋本 一豊
 神戸西神 河合 敏三 丸尾 研一
 鈴木 一史
 姫 路 三木 明
 豊 岡 田中 洋

ベネファクター

神戸東灘 和田 孫博
 神戸西神 工藤 涼二

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

尼 崎 北 武本 正照
 尼 崎 東 小坂 圭一 松岡 秀光
 中井 洋 西川 一正
 尼 崎 南 平井 昌夫 山本 正明
 伊 丹 滝内 秀昭
 川 西 木下 成 北 政十郎
 森友 潔 徳永順一郎
 伊丹有明 池永 明義 阪上 博
 辻野 信博
 川西猪名川 林 健一
 西 宮 早瀬 利典 平田 浩
 廣田 宗玄 北山 哲三
 中島 清 中西 哲生
 中田 尚文 難波 仁
 篠田 利正 高山 敬
 津久井 進 山本 真作
 芦 屋 岩浅 俊朗 武 健一
 植田 英規
 甲 子 園 泉庄右衛門 中川 圭太
 中川 尚美
 篠 山 畑 一弥 堀口 純男
 井上 隆雄 古杉 和広
 小山 芳弘 栗山 泰三
 丸尾 雅弘 山内 利樹
 柏 原 石川 憲幸 黒田 由弘
 谷垣 涉
 宝塚武庫川 池田 光輝
 三 田 南 荻野 恭三
 宝 塚 中 大門美智子 草野 且

神 戸 濱 浩一 鍛冶川清司
 木下 勝文 木下 和彦
 中林 淳 中野 正徳
 上谷 佳宏 八木 博嗣
 神戸東 三戸岡英樹 西村 太一
 神戸東灘 舟元美智子 石田希世士
 神戸南 井上 淳也 海津 順一
 桑畑 純也 中尾 信也
 坂野 嘉則 白井 義人
 東 國隆 関 通孝
 神戸六甲 須藤 仁一
 神戸ベイ 矢坂 誠徳
 神戸西 善國 高豊
 神戸垂水 藤丸 信吾 池田 實行
 神戸西神 大塚 啓助
 神戸中 宇尾 好博 吉田 泰弘
 高 砂 桂田 重信 坂井 智代
 山名 克典
 加古川中央 長谷川輝幸 喜多 美雄
 前川 忠範 三村 浩之
 大庫 俊介 大村 直
 多木 有一
 高砂青松 廣瀬 明正 井野 隆弘
 伊藤 勝之 柿木 國夫
 小西 文孝 京谷 慎平
 増田耕太郎 森脇 祥文
 中谷 利幸 西中 亮二
 志方 正昭 田中 伸明
 三 木 金鹿 功 宮永 淳
 矢野 謙
 小野加東 藤田 覚 岸本伊久男
 小林 俊正 甲山 正則
 宮岡 督修 富田 悠介
 岸本 正三
 北 糸 金田 実 矢納 利夫
 西 脇 池町 雄介 生友 勝幸
 三木みどり 洲 本 秦 紳一郎
 姫 路 城 守 鎌谷 正弘
 北野 耕司 宮本 茂
 中村彰一郎 小倉 伸郎
 空地 顕一
 姫 路 南 赤穂 哲 土井 達也
 松岡 淳朗 小原 直人
 岡田 兼明 豊住 格治
 姫 路 西 本田真一郎
 姫 路 東 福永 博之
 神 崎 秋山 紀史 常次 佳丈
 赤 穂 東野 雅弘
 相 生 水本 由幸
 龍 野 崎野 圭子
 上 郡 佐用 半田 充 池田 雅子
 豊 岡 寺本 英徳 田中 洋
 遠藤 剛

〔2020-21年度〕 (対象期間：2020年7月1日～2021年6月30日)

ポール・ハリス・フェロー

尼崎北	浅田 勝彦	岸本 敏裕
尼崎南	奥那嶺まり子	
尼崎中	畑田 吉敏	谷 竹治
川西	藤本 智子	
甲子園	平山 伸吾	川崎 史寛
	森村 次朗	
西宮夙川	佐々木隆幸	
宝塚	安藤 幹根	木野 達夫
三田	松原 弘幸	
篠山	飯田 天祥	石田真太郎
	石井 祥平	
柏原	深田 俊郎	古川 忠之
	廣瀬 隆仁	小橋 昭彦
	高見 悟	
HYOGO-列-クラブ	児玉 貴春	
神戸	河本 英雄	松下 秀司
	三木谷研一	南 健次郎
	尾山 基	塔本 均
神戸東灘	皆吉 晃弘	西尾 至
神戸南	三宅 宏和	三宅 雄己
	奥代 隆志	
神戸六甲	中島 健治	澤井 靖人
	副 高朗	
神戸西神	道永 憲兒	
神戸中	蒲田 恵子	志摩憲一郎
明石北	濱端 俊	
高砂	堀 直樹	増田 章吾
加古川	畑 公平	石川 雄一
	前田 利文	
加古川中央	花里 佳治	二宮 琢也
高砂青松	坂口 嘉久	
加古川平成	清水 洋輔	
三木	藤木 公雄	竹内 良一
小野加東	中山松比古	田中 隆夫
	田中 靖	
北条	林 垂栄	
三木みどり	藤田 雅哉	一井 康秀
姫路	入江 道弘	宮崎 雅彰
	瀧川 祥也	
姫路南	幸田 精久	黒川 仁
姫路西	前田 洋	吉田 和正
赤穂	西川 英也	
龍野	圓尾 美佳	森口 哲也
豊岡	赤石 忠文	千葉 義幸
	遠藤玄一郎	遠藤 剛
	土生田尚士	濱上 将巳
	井戸 督	笠原 泰藏
	紀氏 隆宏	小松 浩樹
	勾田 勝久	宮元 光明
	村尾 隆之	中尾 二大
	西岡利一郎	野田 昌男

豊岡	大井 美行	田中 一成
	谷 孝之輔	和田 和也
	藪原 和三	山根 正和
	山下 大輔	
和田山	大林 賢一	

公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会表彰

米山寄付認証クラブ

- ・7千万円達成クラブ
神戸
- ・5千万円達成クラブ
姫路
- ・4千万円達成クラブ
明石東
- ・2千万円達成クラブ
神戸南
神戸六甲

米山功労クラブ () 内は表彰回数

尼崎北	(26)
西宮	(16)
西宮夙川	(9)
神戸	(46)
神戸東	(30)
神戸東灘	(20)
神戸南	(10)
神戸六甲	(16)
神戸ベイ	(11)
神戸西神	(19) (20) (21)
明石東	(26)
明石北	(18)
高砂	(18)
加古川	(30)
加古川中央	(26)
小野加東	(28)
西脇	(16)
姫路南	(52)
姫路東	(44)

米山功労者メジャードナー (第10回以上)

伊丹有明	津谷 功 (12)
	池永 明義 (10)(11)
篠山	小南 稔彦 (20) 藤本 善一 (10)
宝塚武庫川	大室 備 (34)
神戸六甲	山本 秀憲 (16) 坂部 典生 (12)
	東 國隆 (10)
神戸須磨	橋本 一豊 (19) 大内 晋二 (10)
神戸西神	丸尾 研一 (70) 河合 敏三 (15)
	吉川 孝郎 (13)
小野加東	増村 道雄 (14)

西 脇 井村 正身 (17)
 洲 本 石濱 義民 (10)
 姫 路 南 高島 暢 (12)

北 条 安達 功 (4)
 西 脇 藤本 武彦 (9) 矢納 利夫 (3)
 金田 実 (2) 園田 純也 (2)
 三木みどり 依藤 保 (4) 生友 勝幸 (2)
 洲 本 秦 紳一郎 (5) 横井 哲行 (5)
 番所 利行 (3)
 淡路三原 登里 康生 (4)
 姫 路 鎌谷 正弘 (3) 城 守 (2)
 中村彰一郎 (2)
 姫 路 南 柳川 芳廣 (9) 齊藤 淳泰 (4)
 豊住 格治 (4) 岡本 哲侍 (3)
 姫 路 西 新 三郎 (3) 石川 誠 (2)
 姫 路 東 常村 武史 (4)
 神 崎 伊藤 晃敏 (4) 秋山 紀史 (3)
 相 生 森田 文藏 (3) 淮田 勝彦 (2)
 上郡佐用 井口 洋子 (6)

米山功労者マルチプル (第2回~第9回)

尼 崎 高岡 久 (4)
 尼 崎 北 苅田孝太郎 (7) 武本 正照 (6)
 武本 正照 (5)(6) 佐野 幸司 (3)
 尼 崎 東 杉浦 誠一 (9) 喜多 敬 (8)
 内藤 成敏 (5)
 尼 崎 西 武田 太平 (5)
 尼 崎 南 山本 澄 (6) 釜田 育瑚 (4)
 徐 幸一 (3) 芝 泰雄 (2)
 伊 丹 田中 久雄 (3)
 川 西 徳永順一郎 (4)
 伊丹有明 備藤 晋二 (6)
 西 宮 布目 莊太 (2) 岡田 洋 (2)
 藤堂 勝巳 (2)
 西宮夙川 贄田 肇 (4)
 篠 山 今井 保晴 (9) 満仲 諦雅 (6)
 廣田 実光 (2) 田中 義治 (2)
 宝 塚 中 阪上 栄樹 (3)
 神 戸 鍛冶川清司 (5) 西河 紀男 (4)
 笹田傳左衛門 (3) 濱 浩一 (2)
 横山 政夫 (2)
 神 戸 東 佐井 奇正 (6) 鮑 悦初 (4)
 松井 照男 (2)
 神 戸 東 灘 川本 慶子 (7) 和田 孫博 (7)
 舟元美智子 (5)(6)
 神 戸 ベイ 吉田 基毅 (4) 北浦 浩 (2)
 神 戸 須磨 大内 晋二 (8) 植田 芳光 (7)
 門田 敬造 (6) 光斎 信治 (3)
 神 戸 垂水 善國 高豊 (8) 中塚 修 (2)
 神 戸 西神 工藤 涼二 (6) 藤丸 信吾 (3)
 伊藤 幸美 (3) 西藤 隆弘 (3)
 大塚 啓助 (3) 道永 憲兒 (2)
 神 戸 中 宇尾 好博 (2)
 明 石 東 伊藤 勝皓 (6) 伊藤 明彦 (2)
 明 石 北 林 祝雄 (2) 柿野 明男 (2)
 成田 光繁 (2) 尾上 潤二 (2)
 加 古 川 竹位 賢二 (5) 山口 勝英 (5)
 今村 諒道 (2) 久後 勇人 (2)
 大庫 典雄 (2) 山本亜也夫 (2)
 吉田 太郎 (2)
 加古川中央 朝家 修 (5) 前川 忠範 (5)
 松尾 邦光 (5) 大村 直 (5)
 大西淳滋郎 (4) 長谷川輝幸 (3)
 三 木 金鹿 功 (5) 宮永 淳 (3)
 大西 次丸 (2) 横山 寛 (2)
 小野加東 岸本伊久男 (6) 内藤 正克 (6)
 藤田 覚 (4) 甲山 正則 (2)
 小林 俊正 (2)

第1回米山功労者

尼 崎 北 齊藤 竜政
 尼 崎 中 佐藤 肇
 西 宮 長沼 隆弘
 西宮夙川 赤木 幸子
 三 田 松原 弘幸
 篠 山 石井 祥平 月森 一延
 神 戸 福田 泰弘 垣田 宗彦
 神 戸 六甲 伊藤 浄真
 神 戸 垂水 小林 秀一 八代 智
 神 戸 西神 堤 健二郎
 加 古 川 穴田 敬士 松井 隆文
 高浜 佳司 鶴田 彰二
 安井 剛
 三 木 岡島 正造
 小野加東 中山松比古 田中 靖
 北 条 定行 敏弘 高部 佳幸
 高井 誠貴 高瀬 生代
 西 脇 村上 康憲
 洲 本 不動 正章 高山 秀則
 姫 路 天野 泰文 竹田 佑一
 山野 昭彦
 姫 路 南 有川 裕之 鎌谷 一磨
 黒田 俊行 高石 佳知
 原田真一郎 藪口 保
 神 崎 波多野芳則 久斗 讓二
 相 生 江見 重人 平田 雅義

〔2020-21年度〕 (対象期間：2020年7月1日～2021年6月30日)

準米山功労法人

尼 崎 柄谷順一郎 (株)柄谷工務店

準米山功労者

尼 崎 南	本田 俊介	宮崎 健一
西 宮	金居 光由	中村 光孝
	岡村 勇人	
西宮夙川	赤井 秀顕	長谷川純一
	橋本 秀美	今西 永兒
	松岡 繁郎	中村 修己
	中作 良成	中内 一志
	大塚 勝弘	高見 之規
	山田 明良	
篠 山	飯田 天祥	井本 季伸
	石田真太郎	松尾 正樹
	中井 雅人	大前 裕樹
神 戸	小泉 康史	松井 晶
	森本 真弥	
神 戸 東	森本 一裕	多田 善計
	田中 健三	吉田 正人
神 戸 東 灘	福島美穂子	泉 藍
	真末 剛	皆吉 晃弘
	摺河加小里	
神 戸 ベイ	永所 利章	岩瀬 哲正
加 古 川	桑田圭一郎	小田 伸悟
加古川中央	藤本 政則	石野 和也
	衣笠 昭平	田端 和彦
三 木	久野 大介	稲見 秀穂
	石井 盛久	金鹿 功
	宮永 淳	宮脇 靖治
	岡島 正造	大西 次丸
	高馬 将一	津村 敏弘
	横山 寛	
小野加東	阿江 克彦	福田 歩
	上月 規秀	久後 淳司
	芝本 真和	上田尾 真
北 条	安富 英喜	
洲 本	藤岡 照三	廣島 茂雄
	石村 健	木村 一郎
あわじ中央	土井 一史	児玉 和也
姫 路 東	松本 彩稔	糴川 英毅
	高原 敏緒	宇佐美慶太
赤 穂	東野 雅弘	石原 将司

ロータリー在籍

(対象期間：2021年1月1日～2021年12月31日)

【55年ロータリー在籍】

神 戸 秋山 榮

【50年ロータリー在籍】

尼 崎 柄谷順一郎
神 戸 東 角田 嘉宏
赤 穂 寺田 祐三

100%連続出席

【50年連続出席】

尼 崎 柄谷順一郎

【40年連続出席】

尼 崎 田中 良三
伊丹有明 津谷 功
高 砂 名嶋 一成
高砂青松 内海 薫
姫 路 三木 明
姫 路 東 樋口 克亘 大西 健一
神 崎 堀口 勝久
赤 穂 小野 隆義
相 生 石原 裕久

【35年連続出席】

伊 丹 弓場 勝友
甲 子 園 中嶋 邦明
西宮夙川 丸岡 稔洋 柴田 整宏
山本 正二
神 戸 東 山野 薫
神 戸 西 神 西藤 隆弘 吉川 孝郎
加 古 川 中田 美晴
北 条 佐々木信行
西 脇 井村 正身
洲 本 石濱 義民
姫 路 田隅 泰三 山本 清輝
豊 岡 北村 博司

【30年連続出席】

伊丹昆陽池 常岡 豊
甲 子 園 隔山 泰三
神 戸 東 石橋 恒生 神田 孝平
高砂青松 志方 正昭
小野加東 小西 龍機
北 条 是常 克博 西村 栄俊
西 脇 中田 善大
姫 路 南 坂元 宣之 杉山 正幸

【25年連続出席】

尼崎	河村 隆	
西宮	北山 哲三	
芦屋川	中村 昌良	
篠山	藤本 善一	堀 成志
柏原	田中 潔	
神戸	上谷 佳宏	
神戸東	三原 孝公	
神戸垂水	永田 哲也	
神戸西	河合 敏三	
高砂	尾上 喜秀	
北条	神田 孝	
西脇	生田 悟	齋藤太紀雄
	高瀬 英夫	
姫路	空地 顕一	
姫路南	岡田 兼明	
姫路东	福永 博之	常村 武史
赤穂	山本 辰一	
龍野	森崎 嘉章	
香住	奥谷 和美	
豊岡	藤本 鉄郎	

【20年連続出席】

川西	加藤 仁哉	
篠山	小嶋 一郎	
神戸	新 尚一	奈良山貴士
神戸東	福原 敏晃	吉田 建美
神戸須磨	光斎 信治	益子 和久
高砂	伊地知 正治	
高砂青松	佐野 栄作	
北条	小谷 正博	
赤穂	杉山 匡行	
相生	阿賀 慶彦	
龍野	富田 哲雅	
豊岡	田中 洋	

■ご来賓

(敬称略)

兵庫県知事	齋藤 元彦	
伊丹市長	藤原 保幸	
ロータリー財団管理委員・元RI理事	三木 明・千春	姫路

■地区内参加者

●ガバナー、パストガバナー、直前ガバナー、ガバナーエレクト、ガバナーノミニ

ガバナーご夫妻	吉岡 博忠・喜久子	伊丹
パストガバナー	神木 董	加古川
パストガバナー	松岡 通夫	神戸
パストガバナー	田中 毅	尼崎西
パストガバナー	中嶋 邦明	甲子園
パストガバナー	安平 和彦	姫路
パストガバナー	橋本 一豊	神戸須磨
パストガバナー	石井 良昌	尼崎西
パストガバナー	加藤 隆久	神戸
パストガバナー	宮本 一	芦屋
パストガバナー	中村 尚義	洲本
パストガバナー	柴田 整宏	西宮夙川
パストガバナー	石丸 鐵太郎	神戸南
パストガバナー	大室 備	宝塚武庫川
パストガバナー	滝澤 功治	神戸須磨
パストガバナー	丸尾 研一	神戸西神
パストガバナー	室津 義定	尼崎中
パストガバナー	瀧川 好庸	神戸西
パストガバナー	矢野 宗司	加古川中央
パストガバナー	浅木 幸雄	神戸
直前ガバナー	高瀬 英夫	西脇
ガバナーエレクト	阪上 栄樹	宝塚中(現 宝塚)
ガバナーノミニ	安行 英文	三田

●ガバナー補佐

尼崎グループガバナー補佐	佐野 幸司	尼崎北
阪神第1グループガバナー補佐	徳永 順一郎	川西
阪神第2グループガバナー補佐	森村 安史	西宮
阪神第3グループガバナー補佐	模 泰吉	宝塚武庫川
神戸第1グループガバナー補佐	新玉 正男	神戸南
神戸第2グループガバナー補佐	矢坂 誠徳	神戸西
東播第1グループガバナー補佐	佐々木 志朗	明石東
東播第2グループガバナー補佐	松尾 邦光	加古川中央
東播第3グループガバナー補佐	藤本 武彦	西脇
淡路グループガバナー補佐	瀧口 洋	淡路三原
西播第1グループガバナー補佐	松井 正光	姫路中央
西播第2グループガバナー補佐	大岩 敏彦	上郡佐用
但馬グループガバナー補佐	栗藏 富雄	豊岡

●地区内71クラブ 会員の皆様

●特別参加者

プロバスクラブ 会員の皆様
インターアクトクラブ
ローターアクトクラブ
RYLA学友会
青少年交換長期派遣候補生
青少年交換学友会
ロータリー財団兵庫学友会
米山記念奨学生
米山奨学生学友会(兵庫)

(敬称略・グループ順・名誉会員を含む 2021.1.1～12.31)

ありし日のお姿を偲び 謹んで心から哀悼の意を表します



故 中馬 勇 氏(尼崎北)
享年95



故 高原春植 氏(川西)
享年68



故 難波 仁 氏(西宮)
享年92



故 岡本英三 氏(芦屋)
享年91



故 大橋太郎 氏(芦屋川)
享年81



故 中野重幸 氏(西宮恵美寿)
享年72



故 石原 守 氏(神戸東)
享年60



故 谷水清司 氏(神戸西)
享年89



故 鶴井孝文 氏(神戸西神)
享年74



故 飯島 健 氏(明石北)
享年81



故 大庫俊介 氏(加古川中央)
享年74



故 稲田三郎 氏(三木)
享年69



故 戸田和英 氏(三木みどり)
享年67



故 神田哲茂 氏(北条)
享年75



故 秦 孝一 氏(淡路三原)
享年89



故 有末正敏 氏(姫路東)
享年83



故 村越紀一 氏(姫路東)
享年81



故 三木政司 氏(龍野)
享年66



故 竹中博司 氏(豊岡)
享年76



故 河島邦洋 氏(和田山)
享年79

大会役員・大会特別委員会

大会役員

ガバナー	吉岡 博忠	伊丹
代表幹事	白井 良夫	伊丹
大会実行委員長	中島 勝美	伊丹
大会実行副委員長	富田 茂	伊丹
大会実行副委員長	榊井 俊司	伊丹
大会実行副委員長	中山 行夫	伊丹
大会実行副委員長	岩井 秀樹	伊丹

大会登録委員会

委員長	前田 隆則	伊丹
-----	-------	----

大会信任状委員会

委員長	高瀬 英夫	西脇
委員	佐野 幸司	尼崎北
委員	徳永順一郎	川西
委員	森村 安史	西宮
委員	模 泰吉	宝塚武庫川
委員	新玉 正男	神戸南
委員	矢坂 誠徳	神戸西

大会決議委員会

委員長	浅木 幸雄	神戸
委員	佐々木志朗	明石東
委員	松尾 邦光	加古川中央
委員	藤本 武彦	西脇
委員	瀧口 洋	淡路三原
委員	松井 正光	姫路中央
委員	大岩 敏彦	上郡佐用
委員	栗藏 富雄	豊岡

地区資金委員会

委員長	池信 秀明	伊丹
委員	蘆田 裕三	西脇
委員	細川 洋一	宝塚中(現 宝塚)

ガバナー指名委員会

委員長	室津 義定	尼崎中
委員	瀧川 好庸	神戸西
委員	矢野 宗司	加古川中央
委員	浅木 幸雄	神戸
委員	高瀬 英夫	西脇

大会実行委員会組織



国際ロータリー第2680地区
2021-22年度地区大会

Rotary
District 2680



ロータリーの夕べ

入場
無料

ホテルにお越しのお客様ならどなたでも入場できます。
ロータリーの夕べのひとときをどうぞお楽しみください。

2022年
3月5日(土) 17:30～
開催場所／ポートピアホール

第1部

AKA DUO

ヴァイオリン：
松岡 井菜
ピアノ：
木口 雄人



第2部

佐藤恭子カルテット

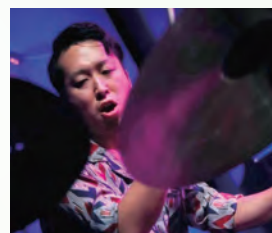
サクソ：
佐藤 恭子



バス：古木 佳祐



ピアノ：スエナガ タカフミ



ドラム：木村 紘

〈ご来場前のお願い〉

- 咳エチケットのご協力をお願いいたします。●マスクを必ずご着用の上でご来場ください。●手指消毒用のアルコールの設置をしておりますので、ご利用ください。
- 以下に当てはまるお客様にはご入場をお断りさせていただきます。

①発熱37.5度以上、咳、呼吸困難、咽頭痛、鼻汁、全身倦怠感、味覚・嗅覚障害、目の痛みや結膜の充血、関節・筋肉痛、下痢、吐き気、嘔吐等の症状がみられ、体調が悪くない場合 ②過去2週間以内に発熱や感冒症状で受診や服用をされた方 ③新型コロナウイルス感染症陽性の方と濃厚接触された方 ④過去2週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への訪問歴及び当該在住者との濃厚接触がある方

主催：国際ロータリー第2680地区 地区大会実行委員会



〔編集後記〕

関係各位のご尽力のおかげで、2021-22年度2680地区大会記録誌が無事お届けできましたことを心よりの感謝をもってご報告申し上げます。2022年の春こそは正常な地区大会が開催できると信じてまいりましたが、COVID-19によるパンデミックはいまだ猛威を振るい、残念ながらきわめて変則的な開催となりました。山極壽一博士の特別講演をはじめとして、ほとんどの講演がオンライン配信となるハイブリッドな地区大会となりましたが、吉岡ガバナーを中心に多くのロータリアン並びにガバナー事務所のご協力のもと何とか乗り切ることができました。そしてここに、記録誌も完成しました。改めて厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

広報・記録誌委員長 船本 洋 (伊丹)

Rotary
District 2680



国際ロータリー第2680地区 2021-22年度 地区大会記録誌

発行 2022年5月31日
発行者 国際ロータリー第2680地区 大会実行委員会
(伊丹ロータリークラブ)
編集 広報・記録誌委員会
印刷 菱三印刷株式会社

【ホストクラブ】
伊丹ロータリークラブ

【コ・ホストクラブ】
川西ロータリークラブ
伊丹有明ロータリークラブ
川西猪名川ロータリークラブ
伊丹昆陽池ロータリークラブ
西宮イブニングロータリークラブ

国際ロータリー第2680地区
2021-22年度 地区大会事務局

〒650-0046 兵庫県神戸市中央区港島中町6-10-1
神戸ポートピアホテル 722号室

TEL (078) 304-2680 FAX (078) 304-2681

E-mail : rid2680@abelia.ocn.ne.jp

<https://dist.ri2680.org/>